

第2回

蕪崎市総合計画・SDGs推進本部会議

蕪崎市総合計画審議会

令和8年3月

蕪崎市

目次

1. 各種調査結果

1-1 基礎調査

1-2 アンケート

1-3 ワークショップ

1-4 懇話会

1-5 施策評価

2. 市の現状と課題

3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

4. 基本構想の検討



1. 各種調查結果

1. 各種調査結果

1-1 基礎調査

- ・ 人口、産業、都市計画、財政 等

1-2 住民等アンケート調査

- ・ 市民（18歳以上の市民2,000名）
- ・ 子育て世代（子育て支援センター利用者、あんしんメール利用者、市内保育園・幼稚園に通園する子どもがいる保護者）
- ・ 小学生、中高生（市内小学校5年以上、中学校、高校）
- ・ 企業（韮崎工業クラブに所属している企業）
- ・ 市外在住就業者（韮崎工業クラブに所属している企業）

1-3 ワークショップ

- ・ 市民ワークショップ

1-4 懇話会

- ・ 女性懇話会
- ・ 若者懇話会
- ・ 中高生懇話会

1-5 現計画の施策評価

- ・ 施策評価

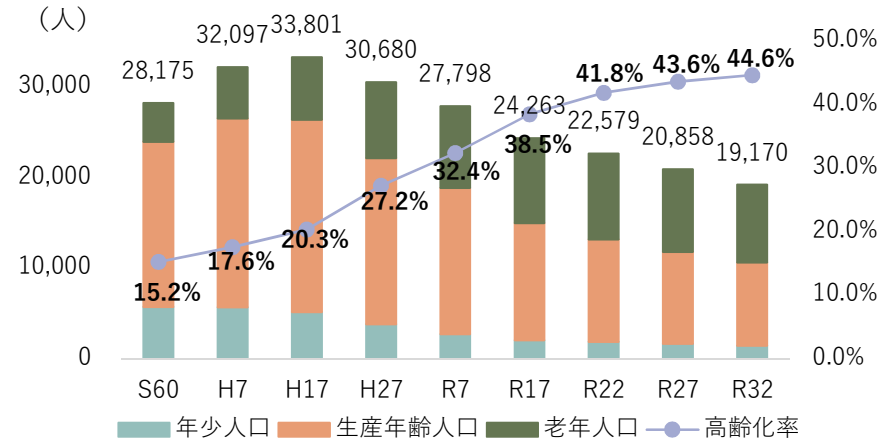
1. 各種調査結果 基礎調査

人口

- 総人口は、2005（H17）年の33,801人をピークに減少傾向が続いており、2025（R7）年現在は27,798人となっている。さらに、2050年には20,000人を下回る見込みである。
- 高齢化率は年々上昇しており、2025（R7）年には32.4%となった。これは、市全体の人口の約3人に1人が65歳以上の高齢者であることを示している。
- 合計特殊出生率は県内27市町村中23位であり、直近10年間においては国および県の水準を下回る状況が続いている。
- 2020（R2）年から2050（R32）年までの30年間で、子どもを産む中心的な年齢層である20歳から39歳までの若年女性人口の減少率が50%を超えると予測されており、いわゆる「消滅可能性自治体」に位置付けられている。

総人口

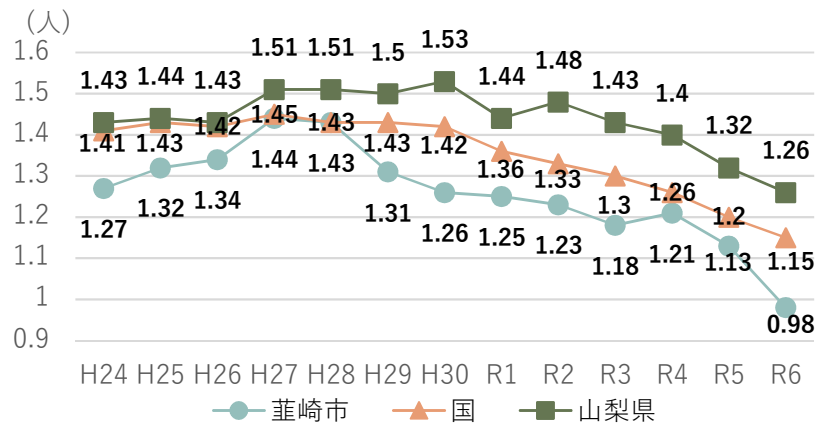
人口減少、少子高齢化が加速



【出典】～H27：国勢調査／R7～：国立社会保障・人口問題研究所（R5推計）

合計特殊出生率の推移

国と県の水準を下回る

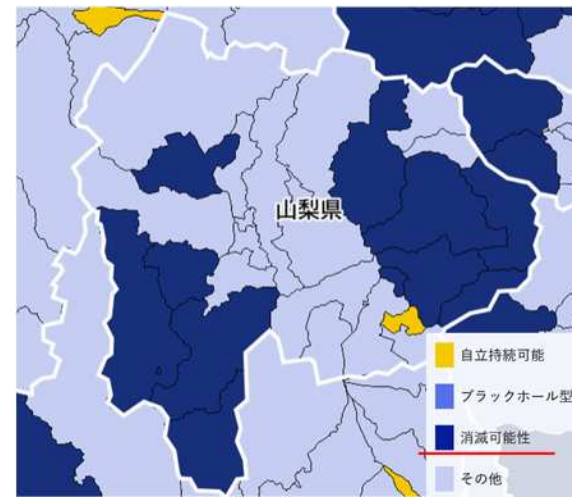


【出典】山梨県人口動態調査

※市のR5年の数値：富士市子ども計画（R7年3月）／R6年の数値：健康づくり課調べ

消滅可能性自治体

若年女性の減少率が著しい



【出典】人口戦略会議（R7）

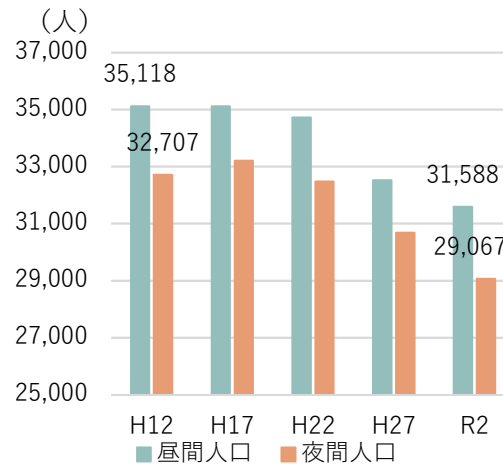
1. 各種調査結果 基礎調査

通勤・通学・転出入

- 通勤・通学による人口流動について、昼間人口が夜間人口を上回り、通勤・通学による市内への流入が多くなっている。
- 他市からの通勤・通学の状況は南アルプス市、甲斐市からが多く、他市への状況は北杜市、甲府市が多くなっている。
- 市の転出入の状況については、2016（H28）年以降の新型コロナウイルス感染症拡大以前から、感染症の収束が見られた2024（R6）年にかけて、転出超過幅は大きく縮小。
- 男女別には、男性は転入超過または均衡に近い状況で推移している一方、女性は転出超過が続く傾向にあり、特に若年層において女性の市外流出が相対的に多い状況が見られる。

通学・通勤

甲斐市・南アルプス市など周辺市から市内へ流入

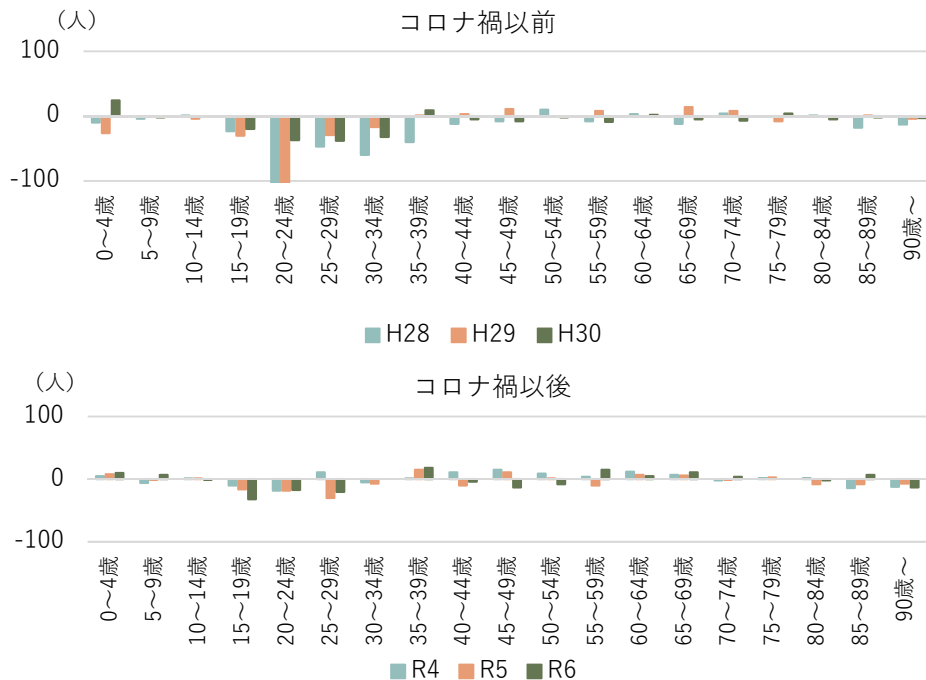


【出典】国勢調査

【出典】国勢調査 (R2)

年齢5歳階級別転出入超過数

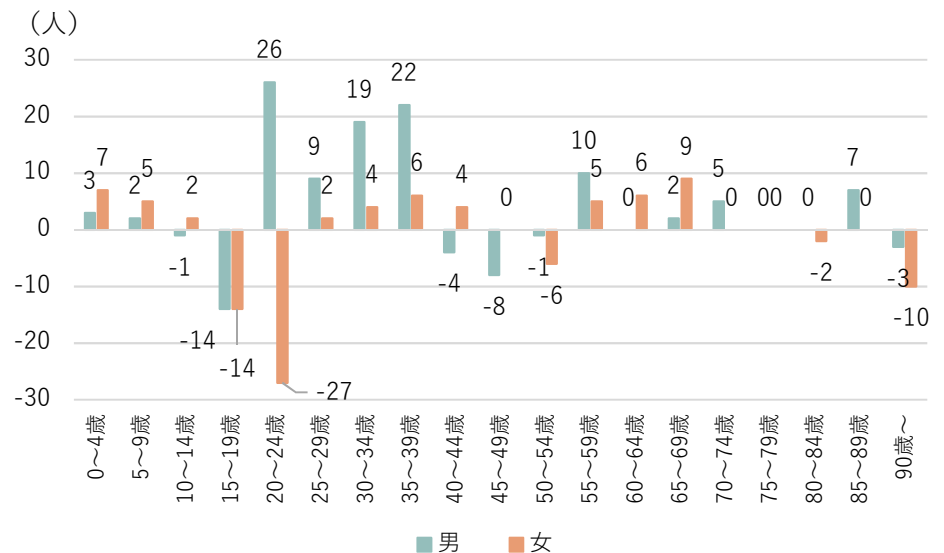
コロナ禍後、転出超過が縮小



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動 年報」

男女別年齢5歳階級別転出入数

若年女性の転出超過



【出典】総務省「住民基本台帳人口移動 年報」 (R6)

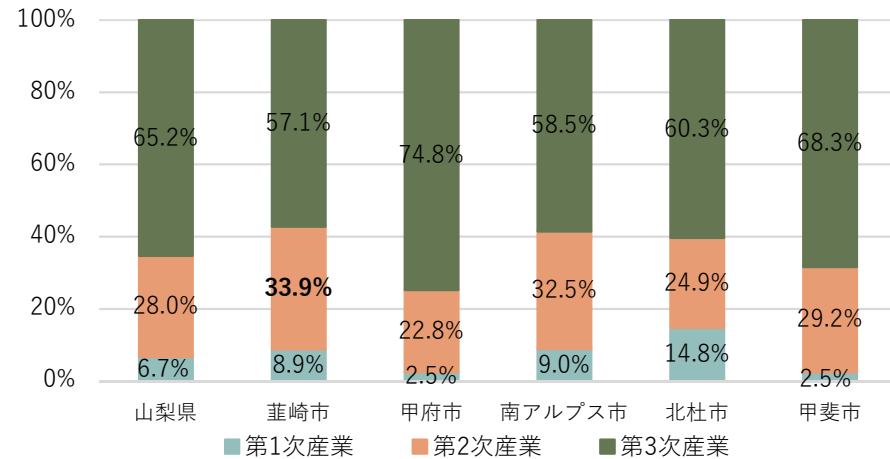
1. 各種調査結果 基礎調査

産業

- 市内産業構造においては、他市と比較して、第2次産業の就業数の割合が高く、なかでも特に製造業の占める割合が非常に高い状況にある。
- 就業構造をみると、県全体と比較して、製造業に従事する割合が高く、地域雇用を支える基幹産業となっている。
- 製造業は、他産業と比較して付加価値額が高く、本市経済を牽引する重要な役割を果たしている。
- 一方で、産業構造が製造業に大きく依存していることから、景気変動や産業構造の変化による影響を受けやすい側面も有している。

R2 就業者産業3部門別構成比 他市比較

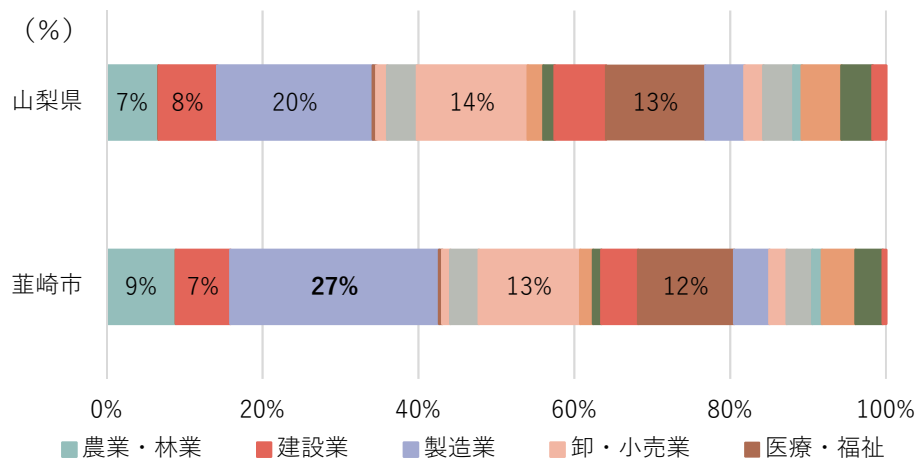
比較的第2次産業が多い



【出典】国勢調査 (R2)

R3 産業（大分類）別就業者割合

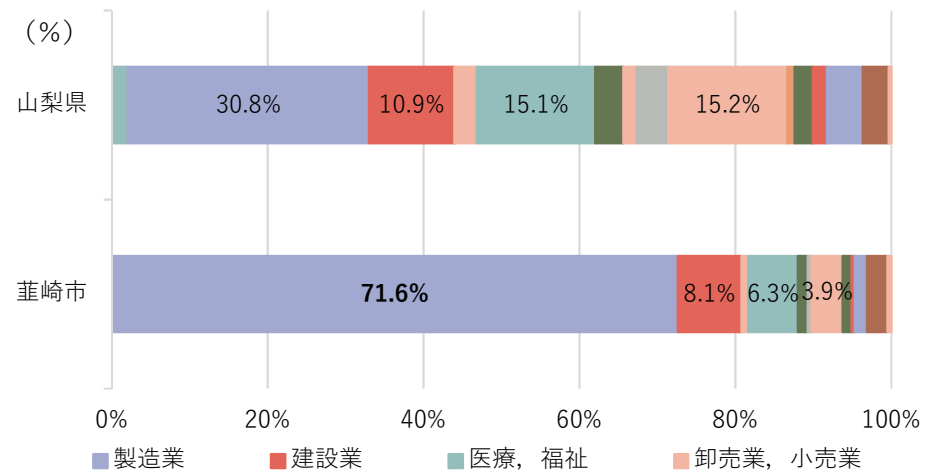
多くの人が製造業に従事



【出典】経済センサス (R3)

R3 産業（大分類）別付加価値額構成割合

製造業の比率が圧倒的に高い



【出典】経済センサス (R3)

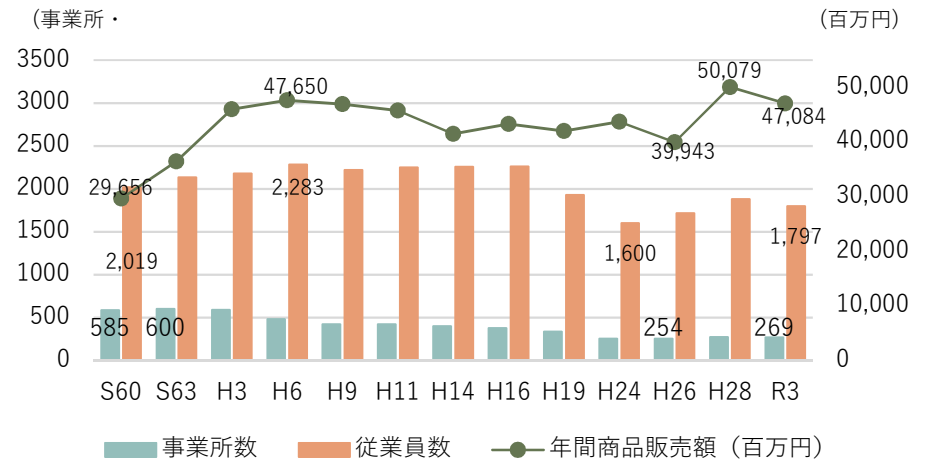
1. 各種調査結果 基礎調査

商業

- 市内商業全体について、事業所数は長期的に減少傾向にあり、直近はやや持ち直しの動きもみられるがピーク時と比較すると縮小している。従業者数は平成初期をピークに減少傾向であったが近年は回復が見られる。年間商品販売額は平成後期に減少した後、一時的に回復したものの、直近では再び減少しており、全体としては横ばいから微減傾向にある。
- 商業全体の縮小は、主として小売業の減少による影響が大きい。
- 一方で、卸売業は販売額が伸びており、企業間取引分野は比較的堅調である。
- 従業者数は回復傾向がみられるが、事業所の減少が続いていることから、事業の集約化、大規模化が進行している可能性がある。

商業店舗数・従業者数・販売額推移

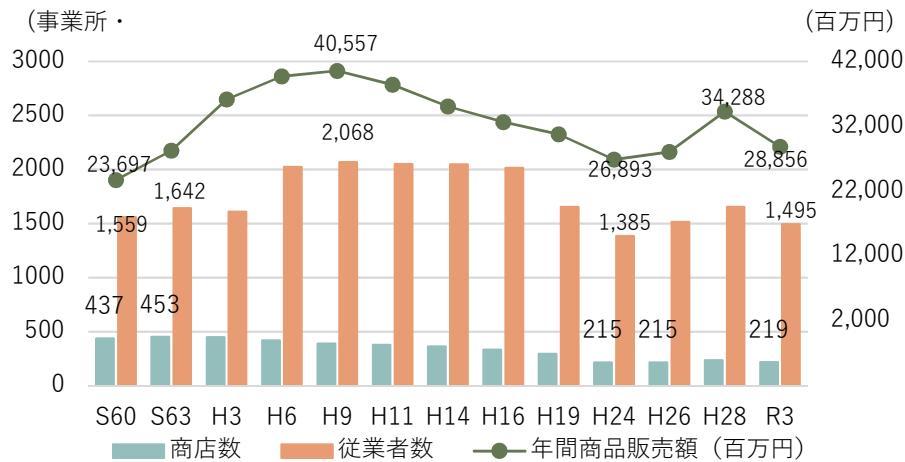
事業所数の減少、販売額の伸び悩み



【出典】商業統計調査、経済センサス

小売業店舗数・従業者数・販売額推移

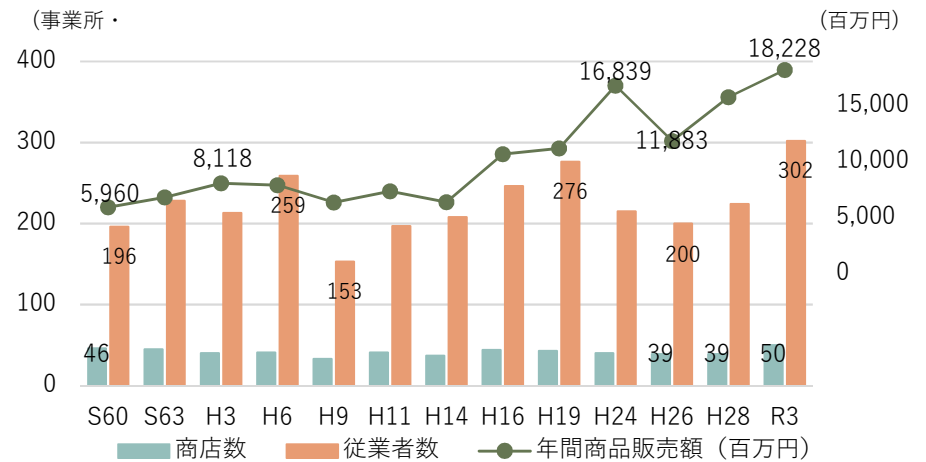
店舗数減少と販売額減少が顕著



【出典】商業統計調査、経済センサス

卸売業店舗数・従業者数・販売額推移

販売額の伸長が顕著



【出典】商業統計調査、経済センサス

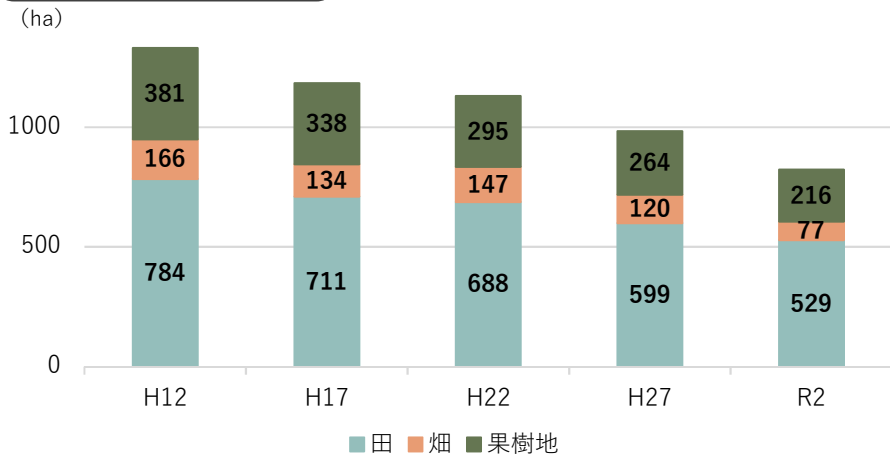
1. 各種調査結果 基礎調査

農業

- 主業・準主業・副業を含む農家数は一貫して減少している。特に副業的農家の減少幅が大きい。
- 農業従事者数も減少傾向にあり、担い手の縮小が進行している。
- 農業算出額は平成後期に一次落ち込んだものの、その後は増加傾向にある。直近では過去最高水準に達しており、生産額ベースでは回復・拡大傾向が見られる。
- 耕地面積は全体として減少している。特に田および果樹園の減少が顕著である。畑も減少傾向にあるが、他地目と比較すると変動は相対的に小さい。
- 地目別耕作放棄地面積は減少傾向にある。放棄地農家数も減少している。

地目別耕地面積

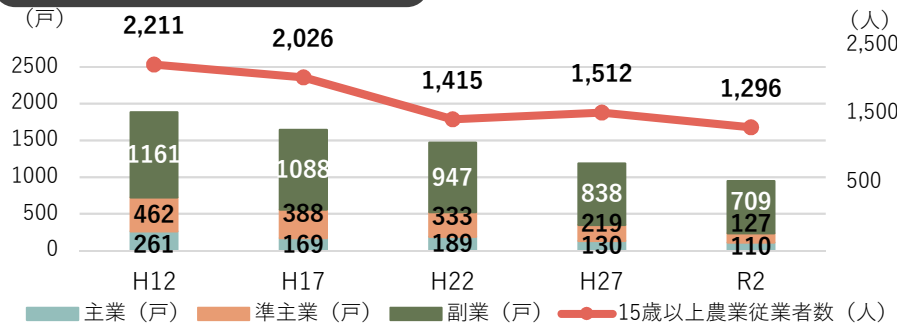
耕地面積は年々減少



【出典】農林業センサス

主副業別農家数と農業従事者数

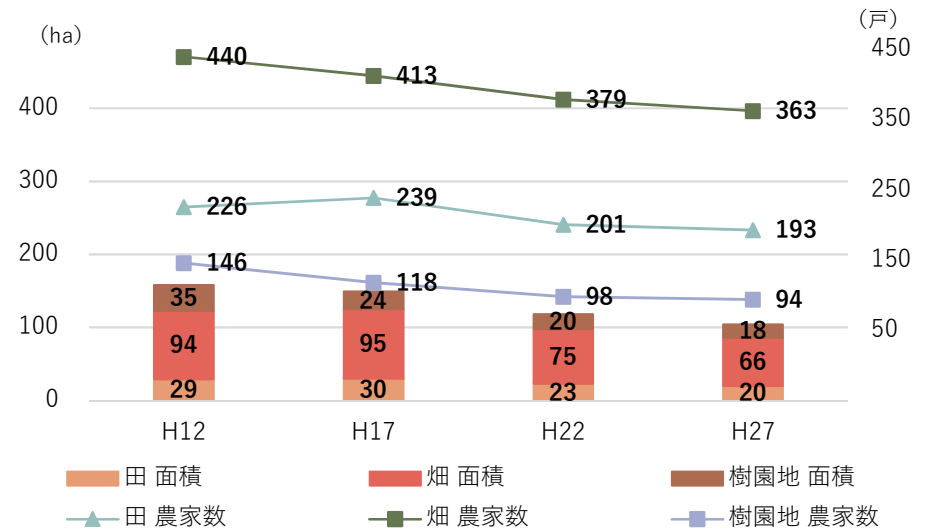
農家数・従業者数は減少



【出典】農林業センサス

地目別耕作放棄地面積・農家数

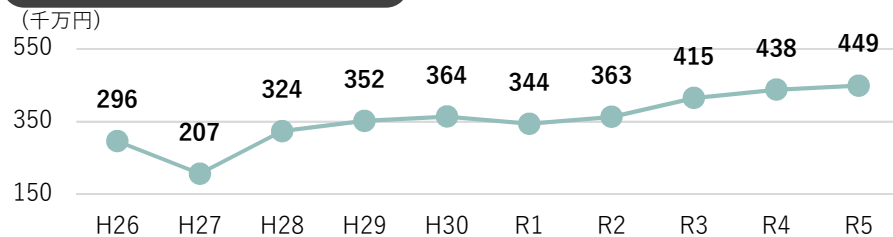
耕作放棄地面積・農家数はともに減少



【出典】農林業センサス

農業産出額

農業産出額は増加



【出典】市町村別農業産出額

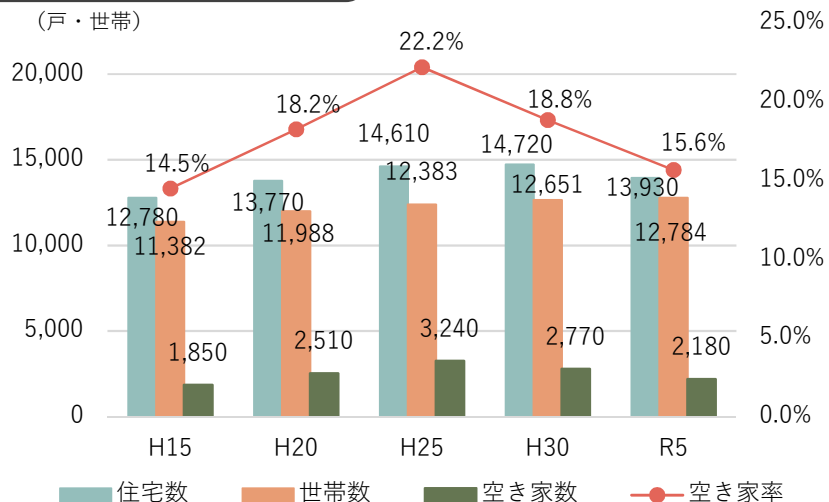
1. 各種調査結果 基礎調査

住宅事情

- 住宅総数は世帯数を上回っており、住宅は量的には充足している。
- 空き家率は、2003（H15）年の14.5%から2013（H25）年に22.2%まで上昇した後、2023（R5）年は15.6%まで低下している。
- 地価公示価格は2025（R7）年で4.2万円/㎡で、周辺市と比較して甲府市より低い一方、甲斐市・南アルプス市より高く、北杜市を大きく上回る。
- 家賃平均は、公営借家が2.7万円、民間借家が5.6万円、給与借家が2.1万円となっていて、公営借家および民間借家は甲府市より高くなっている。
- 戸建て借家の需要も一定程度存在しており、多様な居住形態に対応した住宅市場の形成が求められている。

住宅ストックの状況

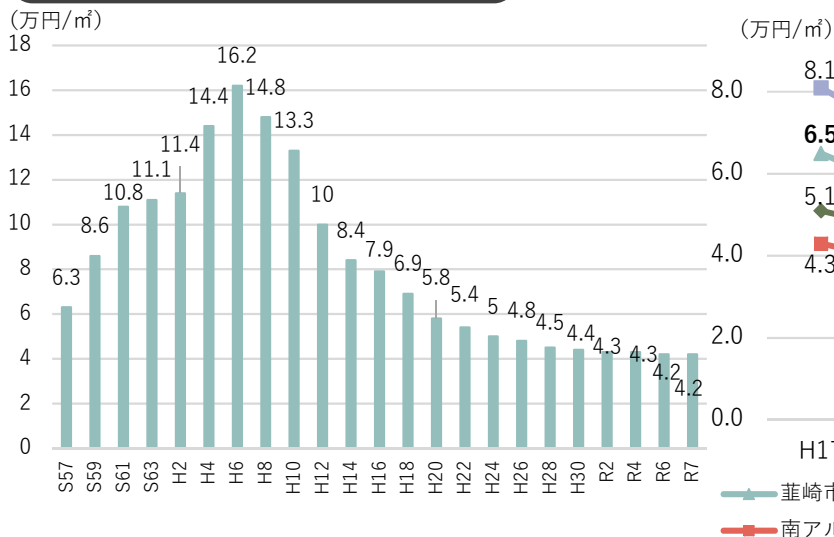
住宅の量は充足、一定水準で空き家存在



【出典】総務省「住宅・土地統計調査」

市の地価公示価格・他市公示価格比較

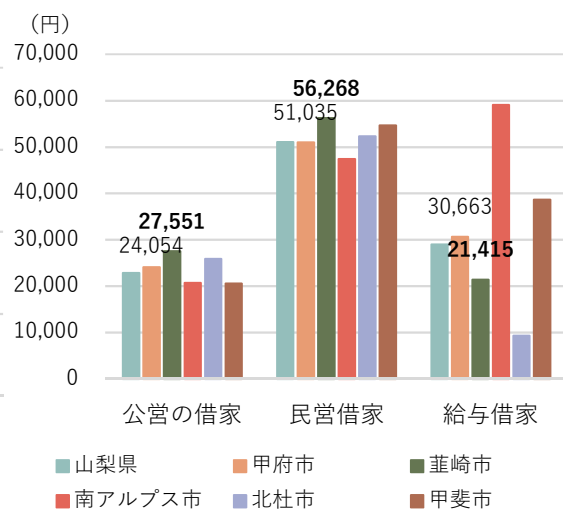
住宅取得の負担が比較的抑えられつつ、一定の市場性を有す



【出典】国土交通省「地価公示価格」

借家家賃平均 県・周辺市比較

民間借家家賃は周辺市より高め



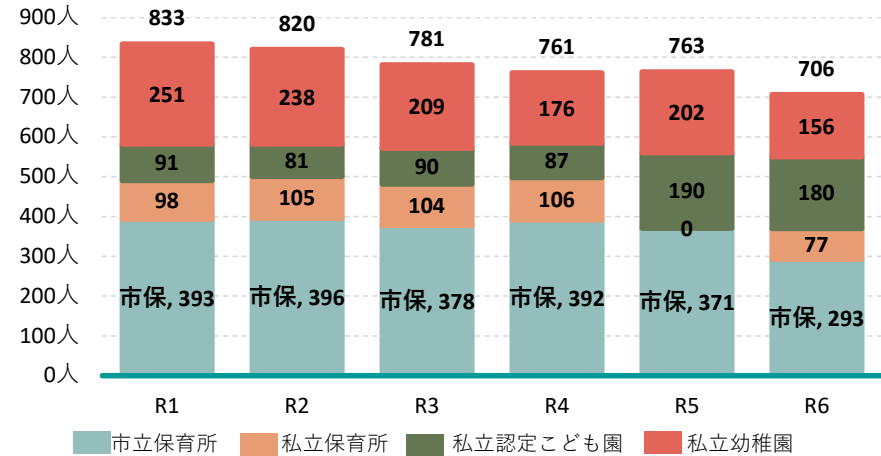
【出典】総務省「住宅・土地統計調査」(R5)

1. 各種調査結果 基礎調査

子育て・教育

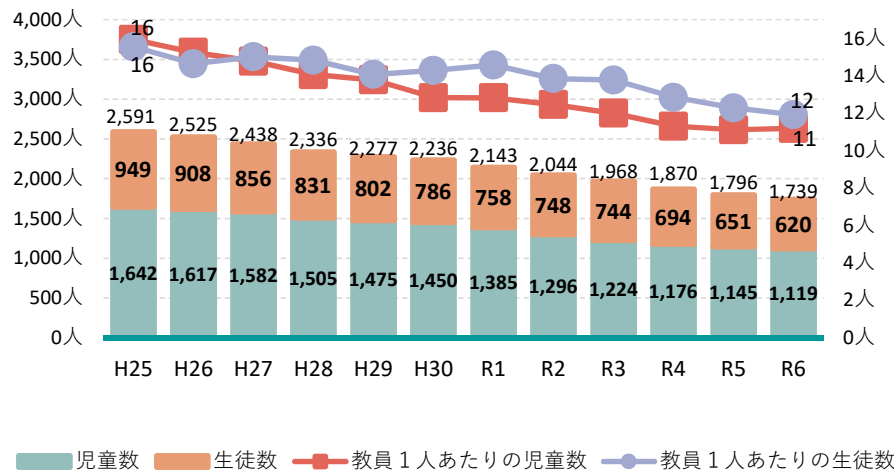
- 市立保育所の園児数が大きく減少し、これが全体の園児数減に強く影響している。私立認定こども園は横ばいで安定し、私立幼稚園も減少傾向が続く。公立の縮小が全体構造を変化させ、民間施設の相対的役割が高まりつつある。
- 市立保育所と私立認定こども園は概ね横ばいだが、2024（R6）年で私立幼稚園と私立保育所の入所率が低下し、特に私立保育所の落ち込みが大きい。施設種別で需要の差が広がり、私立保育所では利用者減や運営環境の変化が影響している可能性がある。
- 児童数と施設数がともに減少する中、教員1人あたりの児童数は低下している。特に施設数の減少幅が大きい一方、教員1人あたりの児童数は改善したと言える。

園児数 公立園児減が全体動向を左右



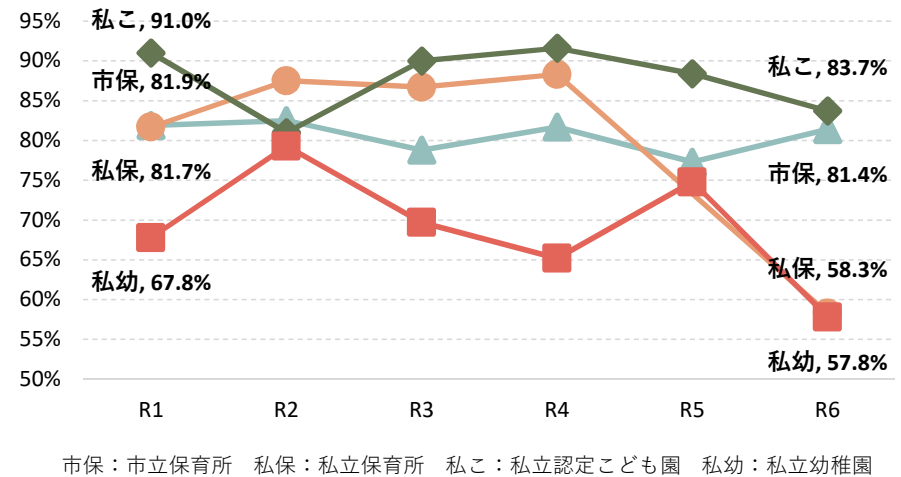
【出典】 葦崎市こども計画（R7年3月）

児童・生徒数及び教員数との相関 児童減少で教員負担が緩和か



【出典】 市勢ダイジェスト（R6）

入所率 私立保育園の稼働率低下が際立つ



【出典】 葦崎市こども計画（R7年3月）

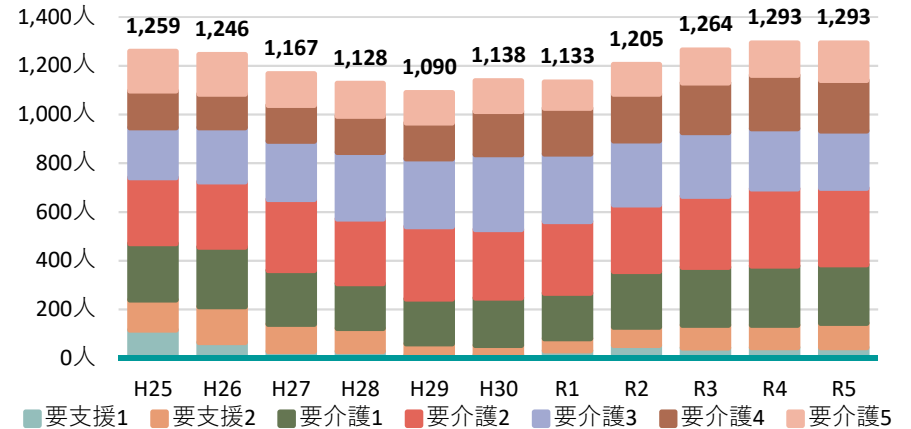
1. 各種調査結果 基礎調査

保健・福祉・医療

- 要介護・要支援認定者数は2013（H25）年以降概ね1,100～1,300人台で推移し、大きな増減は見られないものの、R2以降は微増傾向で高止まりの状態にある。
- 障害福祉サービス、障害児通所支援ともに毎年利用者が増加しており、特に障害児通所支援の伸びが相対的に大きく、全体の利用者数増加を左右している。
- 人口10万人あたり換算の医療施設数や病床数は、一般診療所や病院、薬局等の主要施設で全国平均を上回っている一方、医師数や後期高齢者人口あたりの介護施設数・定員数・職員数等では全国平均を下回っている。

介護保険認定件数

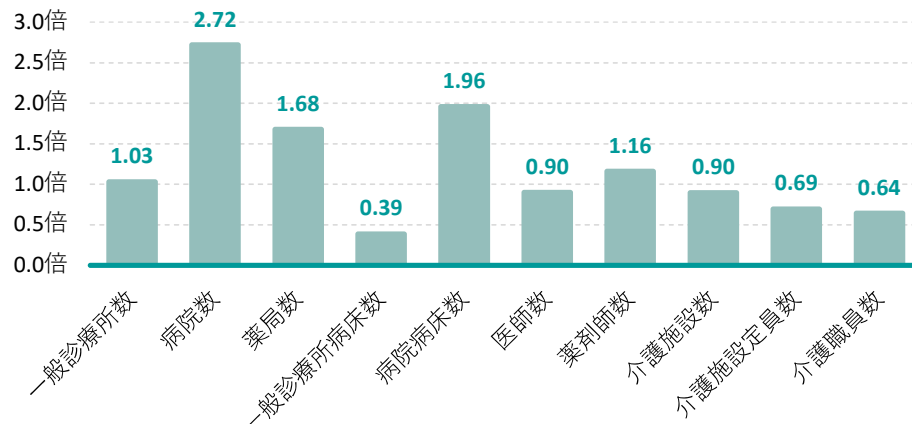
認定者数は横ばいで微増傾向



【出典】第9期葦崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（R6年3月）

医療施設数等の全国平均比

医師数や高齢者対応にやや不安

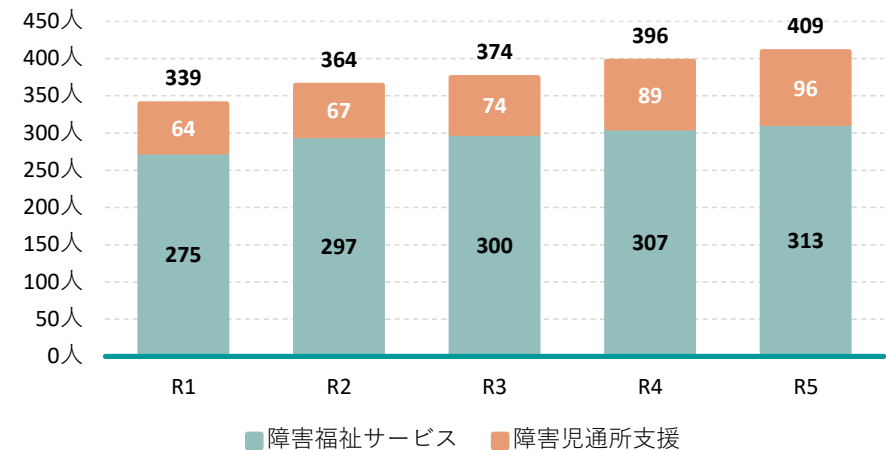


一般診療所数～薬剤師数：人口10万人あたりの数の比較
介護施設数～介護職員数：後期高齢者千人あたりの数の比較

【出典】日本医師会「地域医療情報システム」（R2）

障がい福祉サービス等受給者数

増加傾向



【出典】葦崎市第6次障がい者ふれあい計画
葦崎市第7期障がい福祉計画
葦崎市第3期障がい児福祉計画

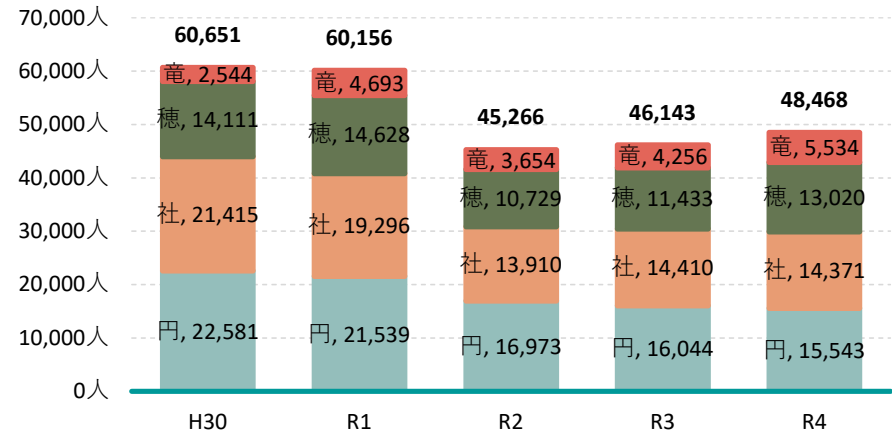
1. 各種調査結果 基礎調査

交通

- 市民バス乗車人数は2018（H30）・2019（R1）年には6万人台だったものの、2020（R2）年にかけて大きく減少し、以降はやや持ち直しているものの2022（R4）年時点でも依然5万人未滿と、以前の水準には戻っていない。
- 自家用車保有台数は2018（H30）年から2023（R5）年まで1万5千台前後で微増しており、世帯当たり保有台数も1.19～1.21台と全国平均よりやや高く、自家用車への依存が比較的高い水準で続いている。

市民バス乗車人数

認定者数は横ばいで微増傾向

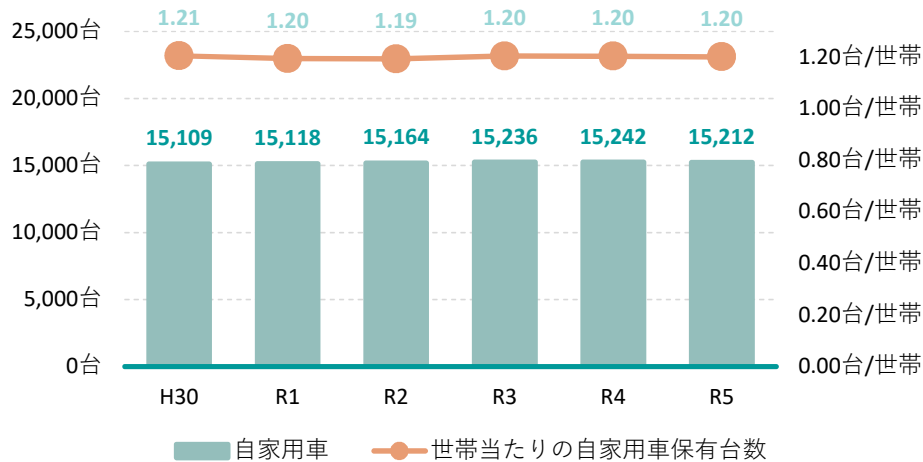


円：円野線 社：社会福祉村線 穂：穂坂線 竜：竜岡線

【出典】 韮崎市地域公共交通計画（R6年3月）

自動車保有台数

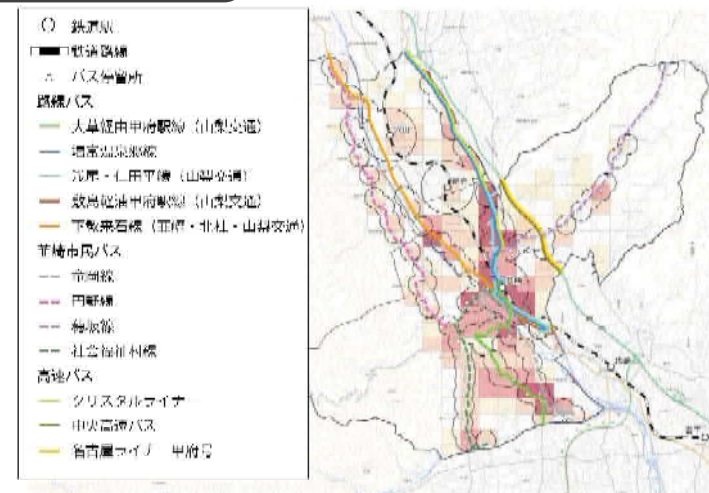
自家用車依存は比較的高水準のまま横ばいに推移



【出典】 韮崎市地域公共交通計画（R6年3月）

市内公共交通網

広域で地域間の移動を担う交通網が整備



【出典】 韮崎市地域公共交通計画（R6年3月）

1. 各種調査結果 基礎調査

防災

- 韮崎市は地勢的条件により、地震、降雪、水害等の様々な災害リスクを有している。
- 山地に囲まれた地形、釜無川をはじめとした急こう配の河川、火山麓の未固結層（七里岩など）などの要因により、市内の広範囲が土砂災害警戒区域、浸水想定区域となっており、豪雨の際に多くの市民が被害を受ける可能性が高い。

自然災害による被害想定

建物被害やライフライン機能の停止

地震	概要	想定規模 (M)
南海トラフの巨大地震	南海トラフで発生する「最大クラス」の海溝型地震のうち山梨県での震度が最も大きくなる「東側ケース」の地震	7.4 (6.8) 本市の最大震度6強
首都直下地震	相模トラフ沿いの首都直下プレート境界で発生する海溝型地震のうち山梨県域にかかる震源断層域を含む地震	7.6 (7.0) 本市の最大震度5弱

【出典】 韮崎市国土強靱化地域計画（R6年3月）

近年の災害履歴

H26には観測史上初めての記録的積雪

平成26年2月豪雪の除雪作業

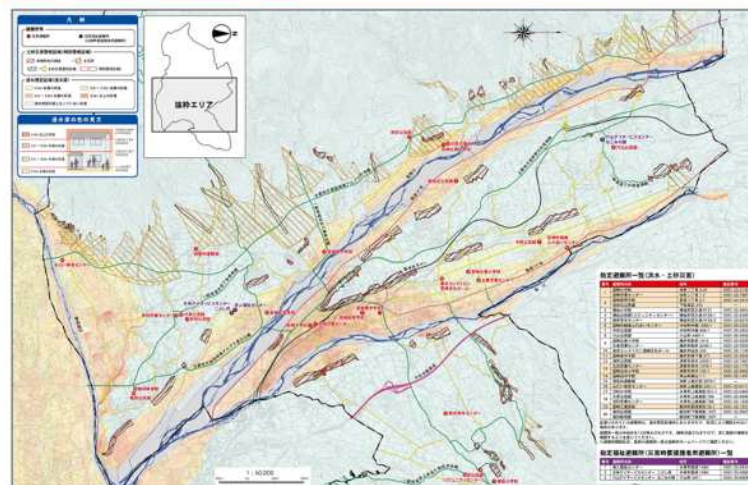


【出典】 韮崎市国土強靱化地域計画（R6年3月）

土砂・浸水想定

広範囲が土砂災害警戒区域・浸水想定区域

浸水想定区域(市内全域)抜粋・縮小版



【出典】 令和元年度版洪水・土砂災害ハザードマップハンドブック

1. 各種調査結果 基礎調査

ウェルネス

- 平均寿命は全国と同様に男女ともに延伸傾向にあり、長寿化が進んでいる。全国および山梨県と同様に上昇傾向にあり、概ね同水準で推移している。
- 男性の健康寿命は延伸しており、山梨県平均や全国と比較してもやや高い水準となっている。女性はやや低下しているものの、県平均と概ね同水準にある。
- 韮崎市の幸福度の平均値は6.49で、全国平均、山梨県平均をわずかに上回っている。分散および標準偏差も全国・県と同程度であり、市民の感じる幸福度は比較的安定した分布となっている。男女別では男性がやや高く、年代別では若年層および高齢層で比較的高い傾向が見られる。

国・県・市別幸福度

国・県をわずかに上回る幸福度

	平均	最頻値	分散	標準偏差
国 (n=8,6420)	6.43	7	4.16	2.04
山梨県(n=431)	6.37	8	4.21	2.05
韮崎市(n=732)	6.49	8	4.05	2.01

【出典】国及び県は、デジタル庁「地域幸福度指標サイト」より引用
市の数値は、市民アンケートより作成 (R7)

男女・年齢別幸福度

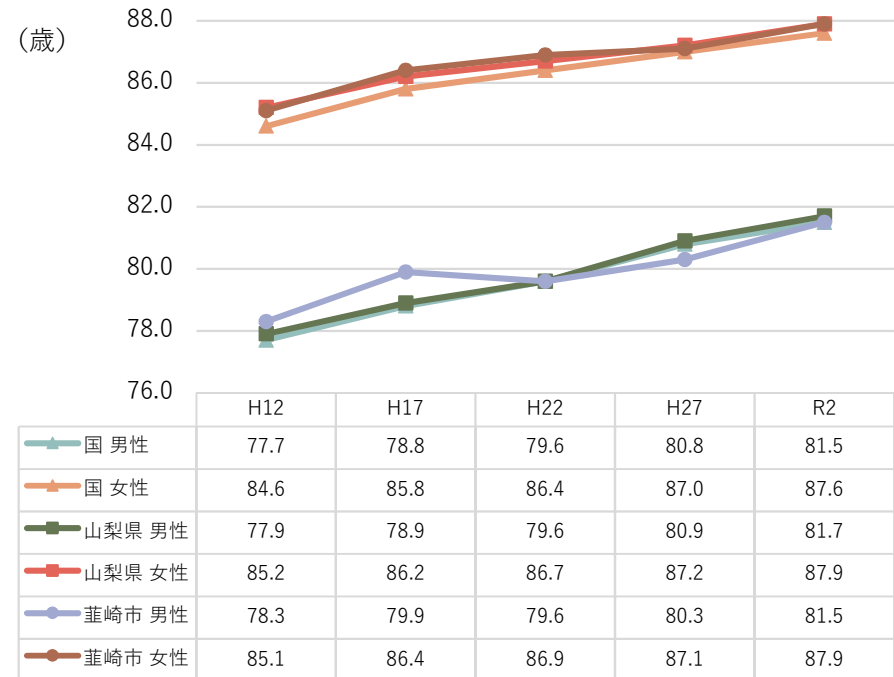
男性ほど、若年層ほど幸福度が高い

	男女別		年齢別			
	男性	女性	10代・20代	30代・40代	50代・60代	70代以上
平均	6.63	6.36	6.99	6.68	6.63	6.87

【出典】市民アンケートより作成 (R7)

平均寿命

国・県と同水準で長寿化



【出典】厚生労働省「市町村別生命表」

健康寿命・平均余命

健康寿命・平均余命との差は一定程度存在

		韮崎市		山梨県		国	
		H22	H27	H22	H27	H22	H27
65歳 男性	健康寿命	17.61	18.67	17.39	17.89	17.19	17.81
	平均余命	19.03	20.24	18.92	19.53	18.86	19.46
65歳 女性	健康寿命	21.96	20.41	20.76	20.87	20.41	20.83
	平均余命	25.75	23.62	24.03	24.43	23.89	24.31

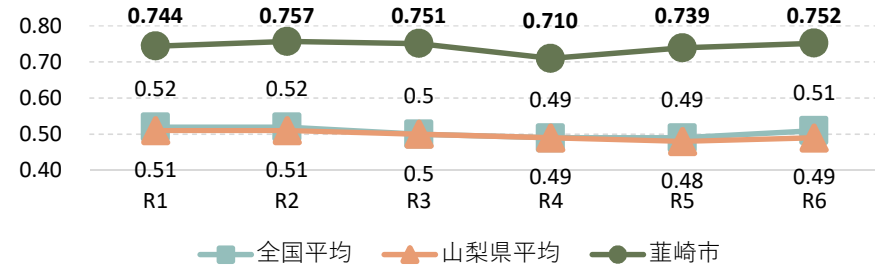
【出典】厚生労働省「市町村別生命表」/H30.10.19付け健第2004号-1通知

1. 各種調査結果 基礎調査

財政

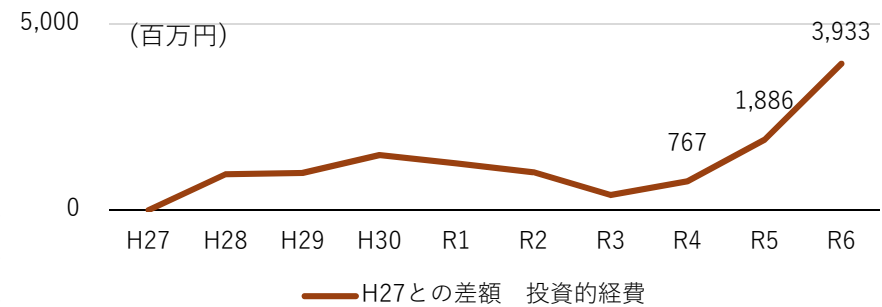
- 韮崎市の財政力指数は2024（R6）年時点で0.752と市区町村平均や都道府県平均を大きく上回っている。
- 韮崎市の経常収支比率は2023（R5）年時点で95.1%と2022（R4）年以前から大幅に増加し、市町村平均、都道府県平均を上回る数値となっている。
- 韮崎市では、体育館の整備などを主な要因とする投資的経費が急増している。
- 公債費負担比率（地方自治体の一般財源総額に占める公債費（借金の元利償還金）の割合を示す指標）は、2023（R5）年を除き13～14%程度となっていたが、2023（R5）年は15.1%と警戒すべき水準に達していた。

財政力指数 安定的に国・県を大幅に上回る

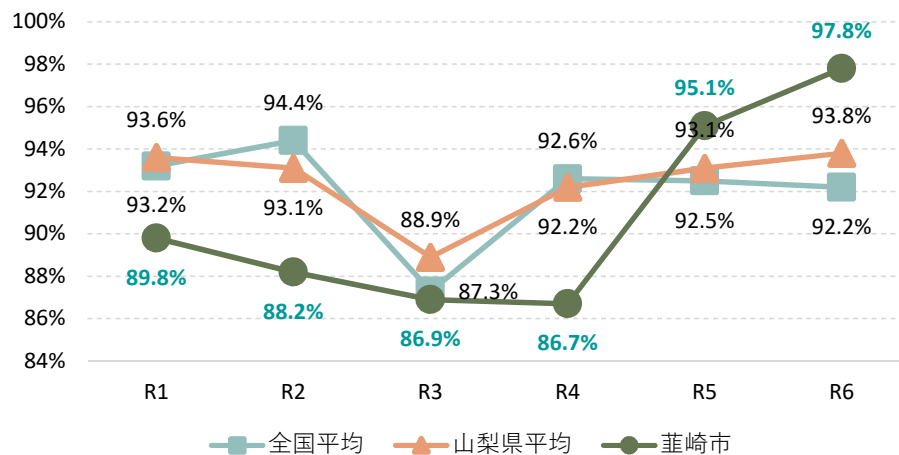


【出典】 韮崎市「財政的分析」／地方公共団体の主要財政指数一覧（総務省）

投資的経費 公共施設整備を中心に近年急増

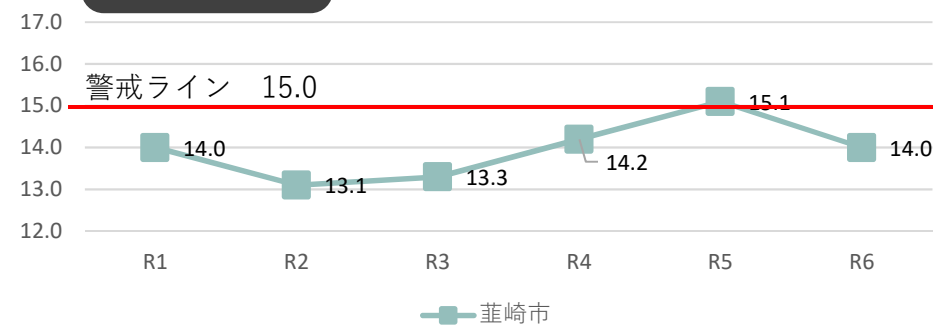


経常収支比率 R4から大幅に増加



【出典】 韮崎市「財政的分析」／地方公共団体の主要財政指数一覧（総務省）

公債費負担比率 一時的に警戒ラインに達するも直近年で改善



【出典】 韮崎市「財政的分析」／地方公共団体の主要財政指数一覧（総務省）

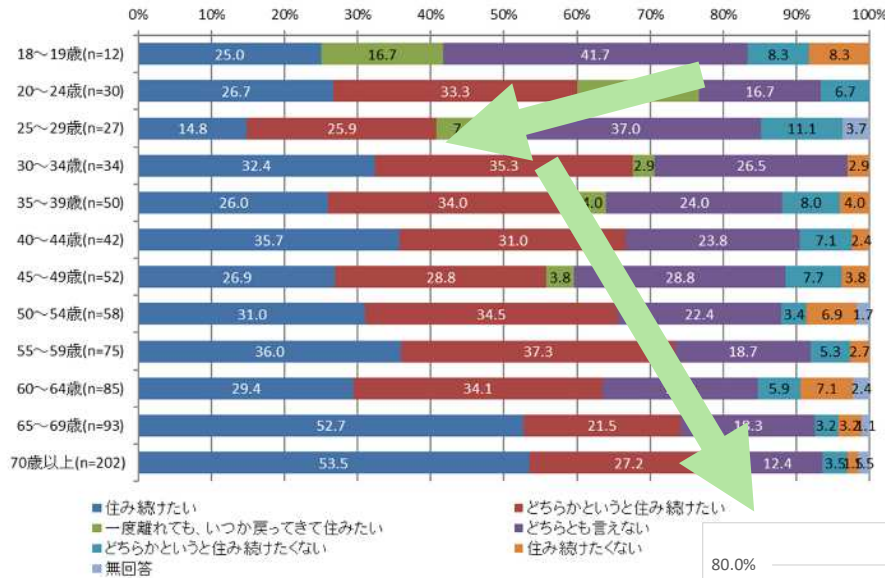
1. 各種調査結果 アンケート調査

アンケート概要

	対象	概要
アンケート	市民アンケート調査	・実施日:2025(R7)年10月27日~11月10日 ・配布対象:18歳以上の市民2000名 ・回収数:760件
	子育て世代アンケート調査	・実施日:2025(R7)年10月20日~11月7日 ・配布対象:子育て支援センター利用者、あんしんメール利用者(市内小・中学校に通学する子どもがいる保護者)、市内保育園・幼稚園に通園する子どもがいる保護者 ・回収数:622件
	小学生アンケート調査 中高生アンケート調査	・実施日:2025(R7)年10月20日~11月7日 ・配布対象:市内の小学校5年生以上、中学生、高校生 ・回収数:小学生230人 中学生382人 高校生485人
	企業アンケート調査	・実施日:2025(R7)年10月20日~11月7日 ・配布対象:韮崎工業クラブに所属する企業 ・回収数:11社
	市外在住就業者 アンケート調査	・実施日:2025(R7)年10月20日~11月7日 ・配布対象:韮崎工業クラブに所属する企業に勤めている、市外在住の方 ・回収数:383件

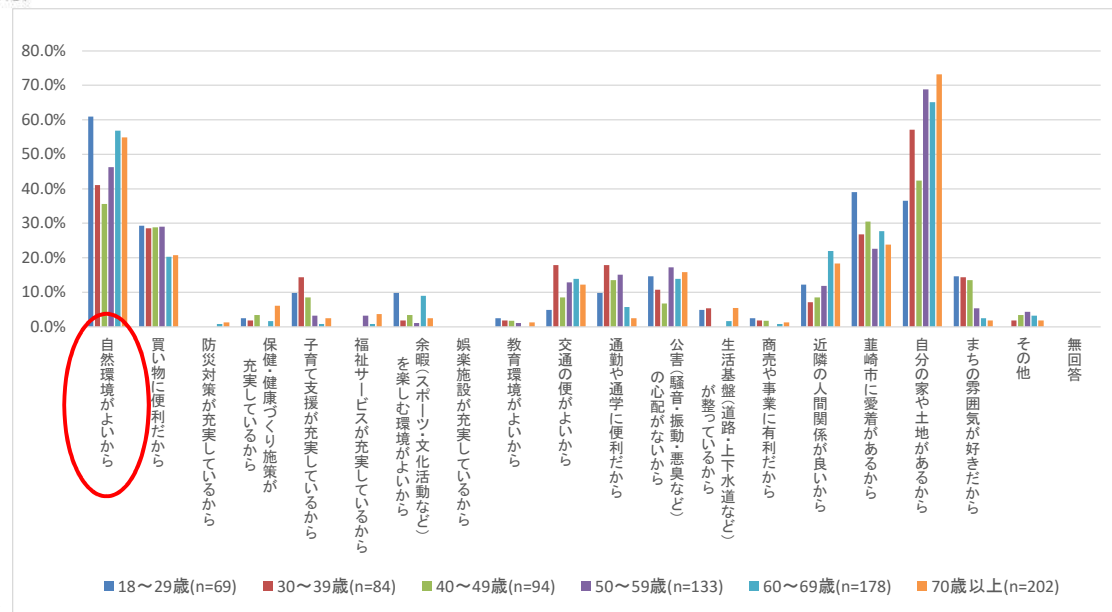
1. 各種調査結果 アンケート調査

■定住意向



20歳代後半で、
住み続けたい（定住）意向が大きく減少

住み続けたい理由
20歳代と60歳以上の層で
「自然環境が良いから」

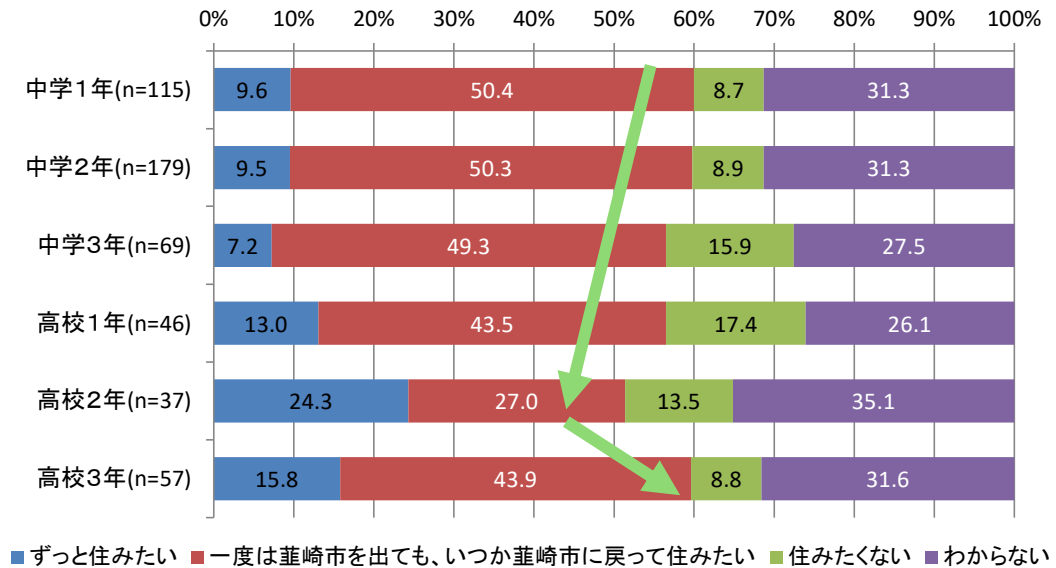


【出典】 韮崎市第8次総合計画の策定に係る市民アンケート調査

1. 各種調査結果 アンケート調査

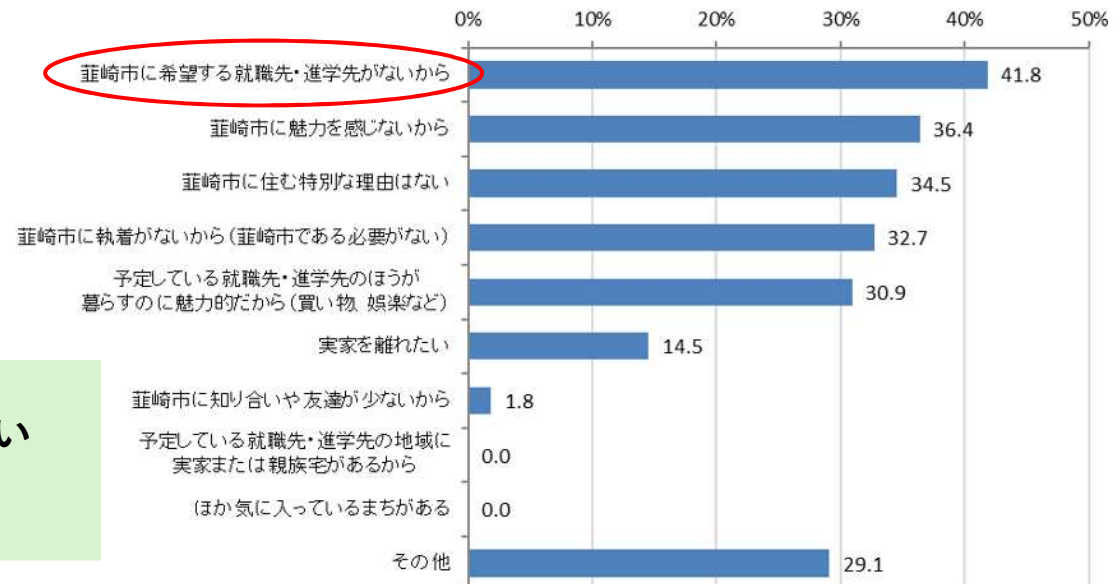
中高生の定住意向

住み続けたい・戻りたい意向が、高3でやや回復



住み続けたくない理由

希望する就職先、進学先がないが上位

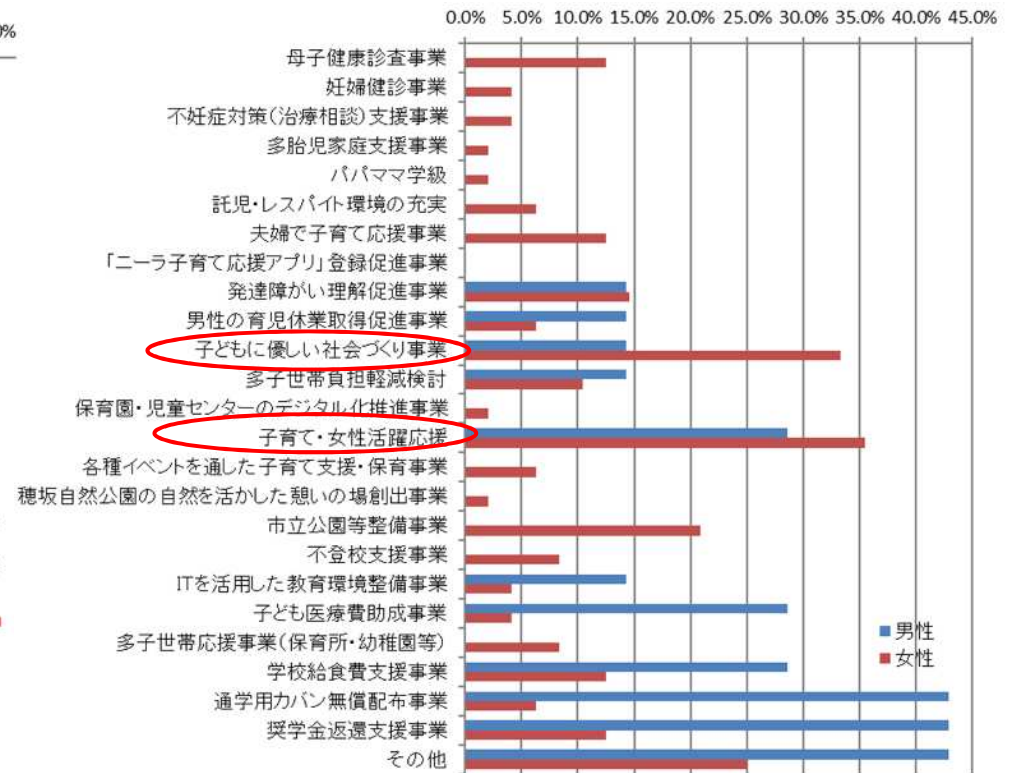
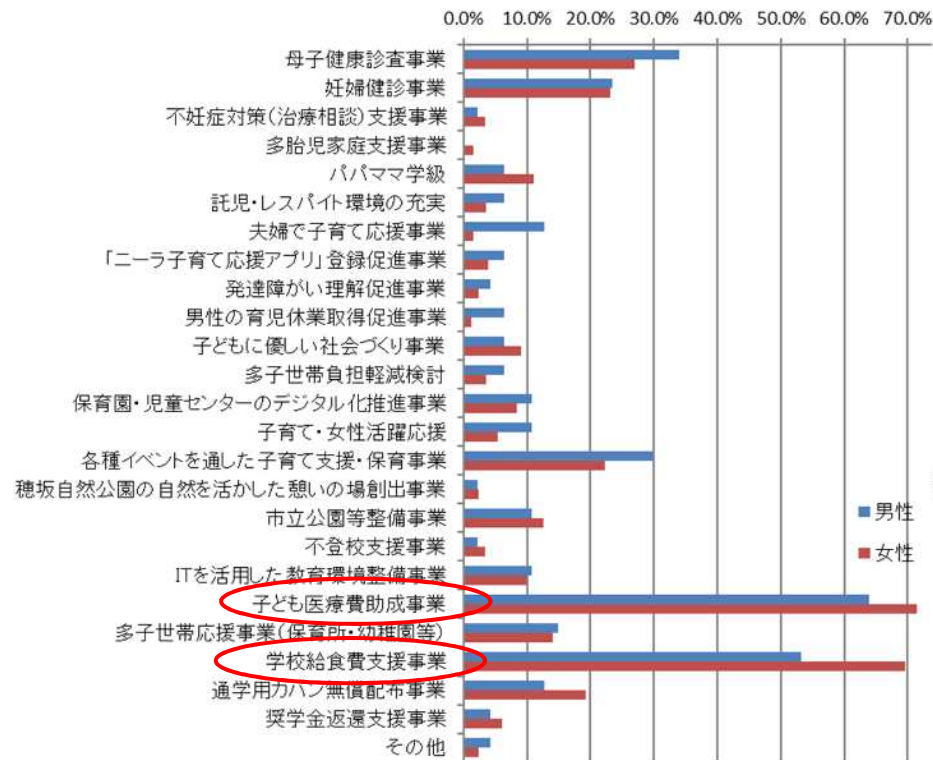


1. 各種調査結果 アンケート調査

■子育て

満足している子育て支援策

不満な子育て支援策

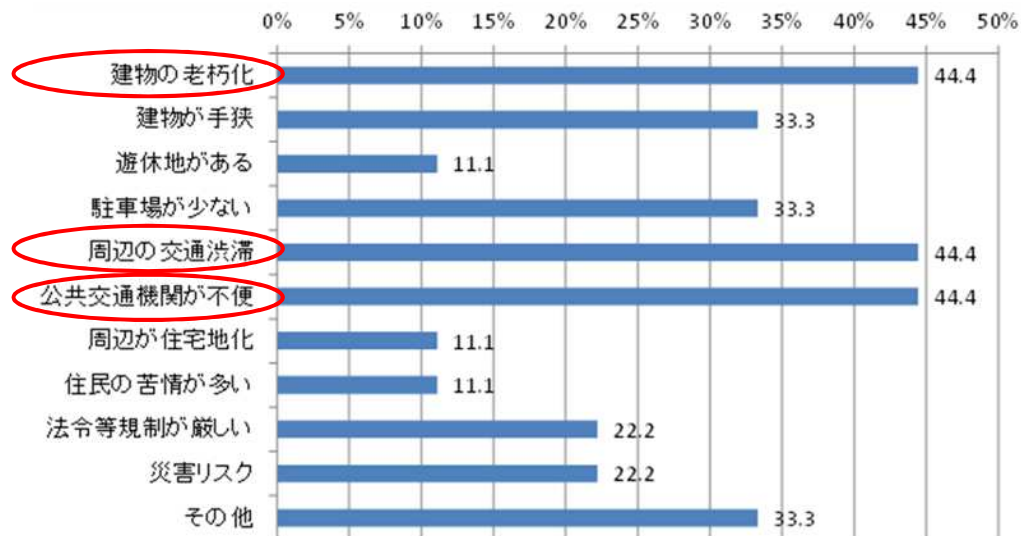


満足している子育て支援策は、「子ども医療費助成事業」「学校給食費支援事業」が高い

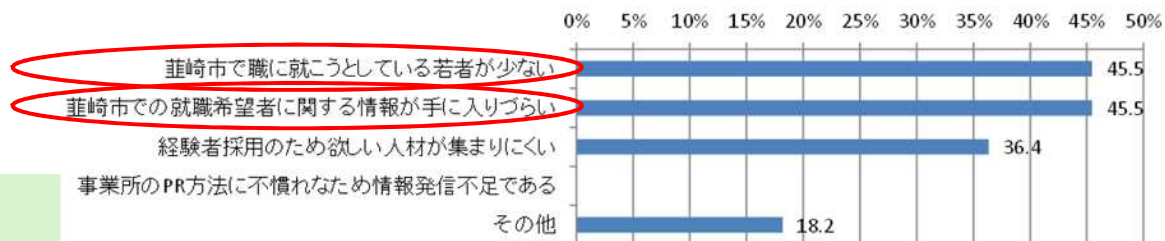
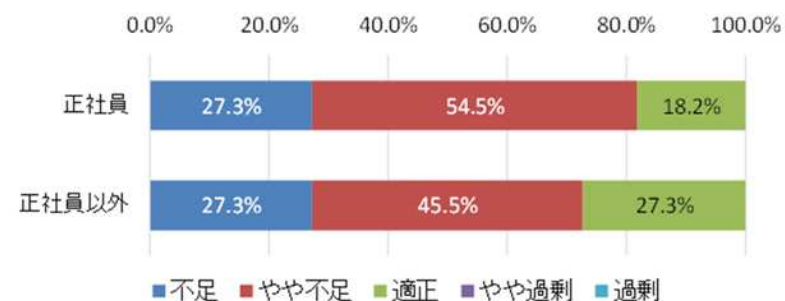
不満な子育て支援策は、女性では「子どもに優しい社会づくり事業」「子育て・女性活躍応援」。男性では「通学用カバン無償配布事業」「奨学金返還支援事業」など。

1. 各種調査結果 アンケート調査

■企業経営上の課題



■人材確保

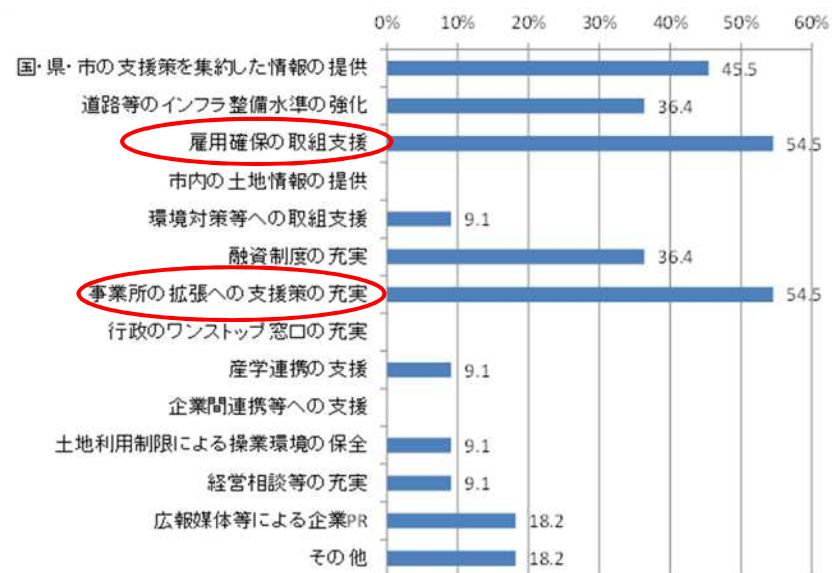
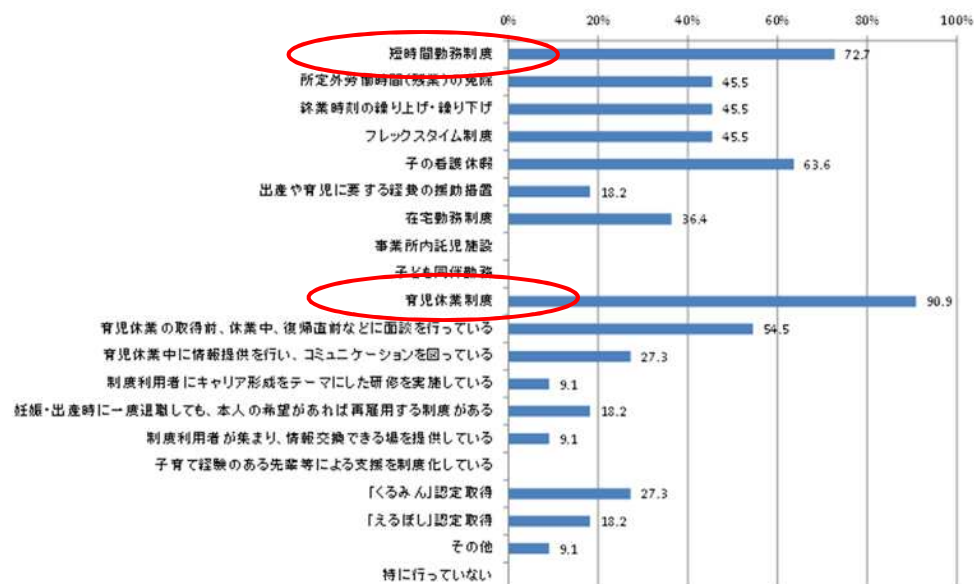


経営上の課題は、
 「建物の老朽化」 「周辺の交通渋滞」 「公共交通機関が不便」
 また、正社員も正社員以外も不足しているが、就職希望者の情報が入りづらい

【出典】 斐崎市第8次総合計画の策定に係る企業アンケート調査

1. 各種調査結果 アンケート調査

■企業の子育て支援策と欲しい対策

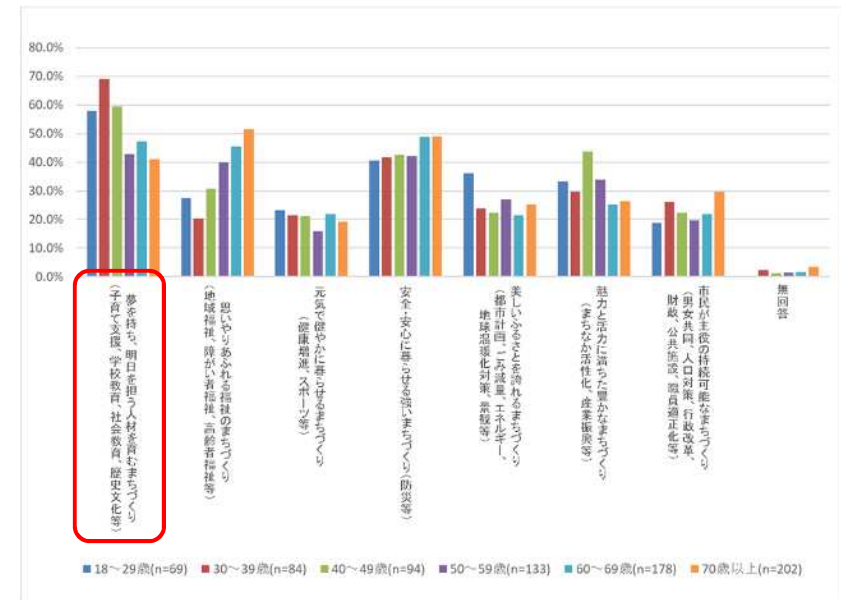
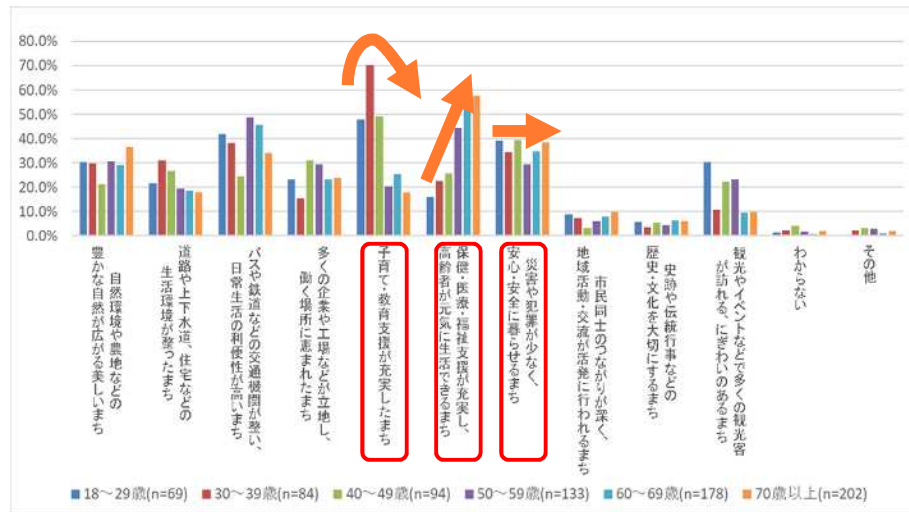


従業員への子育て支援策の実施は、
「短時間勤務制度」
「育児休業制度」が多い

良好な操業環境、雇用促進等に取り組むにあたり、市に力を入れて欲しい対策は、
「雇用確保の取組支援」
「事業所の拡張への支援策の充実」

1. 各種調査結果 アンケート調査

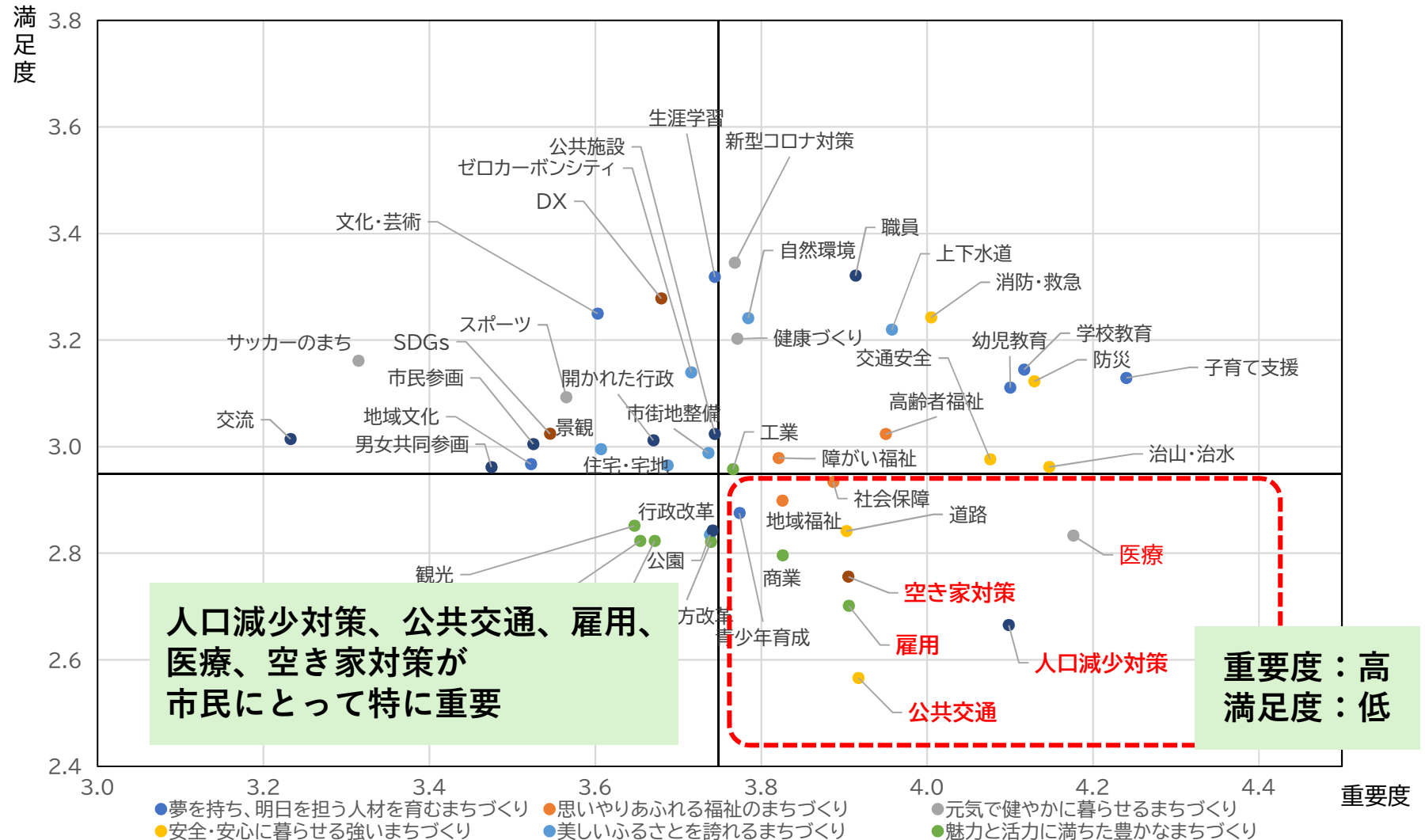
■市の目指すべき姿



- ・ 30代前後は子育て・教育支援のニーズが高く、高齢者ほど保健・医療・福祉支援のニーズが高い
- ・ また安全・安心はどの世代においても高い
- ・ 目指すべき姿として、「夢を持ち明日を担う人材を育むまちづくり」の意見が特に若い世代で高い

1. 各種調査結果 アンケート調査

■市民の施策評価(令和7年度)



1. 各種調査結果 ワークショップ

市民ワークショップの概要

- 韮崎市の最上位計画となる「韮崎市第8次総合計画」の策定に向けて、**理想の未来像について市民の意見を集める場**として開催。
- 本市の生活環境や各種施策に対する意見・課題や新たなアイデア・提案など、市民目線からの生の声を集め、計画策定につなげることが目的。

開催日	テーマ	開催場所	参加人数
2025(R7)年 12月 23日(火) 19:00~21:00	韮崎市の理想の未来づくりワークショップ(市民対象) ・今の韮崎市の市のいいところ、困りごと ・理想の未来実現に向けたキーワード ・10年後の理想の韮崎市は「～なまち」ベスト3	ニコリ3階 会議室	21人
↓今後のワークショップ予定↓			
2026(R8)年度	・協働プロジェクトの検討(2回)	-	-



1. 各種調査結果 ワークショップ

WSの概要：市のいいところ / 困りごと・課題

市民から出た意見(いいところ/困りごと・課題)	
子育て 教育 歴史文化	<p>【いいところ】子育て支援が充実/にらちび/子育てしやすい自然/子ども達がのびのび(のんびり?)している/小学校が目の前→放課後遊んでいた/先輩・後輩の絆が深い。特に葦崎高校/大村博士が凄い! /生きづらさを持つ子どもや若者を見守る関わり/第3の居場所となるサポート(小・中・高~)/子育て支援(にらちび)/青少年育成(ミアキス)/若者がチャレンジしやすい</p> <p>【困りごと・課題】学童期/小中学校の適正規模・配置/小学校が閉鎖的/余裕のない学校現場/大人が怒らないで。子供・母に優しくない/児童館入れない</p>
福祉	<p>【いいところ】渡辺漢方薬局の先生/いい人が多い/人柄が良い/人が優しく包容力がある/好感度のある人付き合い</p> <p>【困りごと・課題】親が高齢化、要介護4/高齢者の住宅問題(我が家もどうする…先が見えない)/人との距離が近い。監視社会</p>
健康増進 スポーツ	<p>【いいところ】中央公園で健康づくり(ウォーク・ストレッチ・体育館)/サッカーのまち</p> <p>【困りごと・課題】スイミングが習えない。プールがない</p>
都市 防災	<p>【いいところ】コンパクトシティ/ほどほど都会/中間的なところ/中途半端な田舎/中間的なところ/コンパクトな町に色々ある(買い物・クリニックetc…)/店がある程度(病院も)そろっている/コンパクトな町、便利/駅がある/駅が3つもある/飲む所が駅から近い/飲み屋さんが増えた/アメリカや横丁界隈のにぎわい/駅前リノベーションの雰囲気好き/ラザ(ラザウォーク甲斐双葉)に10分位でいける/オンデマンドバスが家の前/車あってこそ…ちょうどよい距離感、あらゆる場所・目的地…/防災で地域をつなぐ街、文化財と新たな事業、異質なものを共存、乳化する街</p> <p>【困りごと・課題】バス・移動手段が少ない/バスの便が少ない/公共交通の本数少ない。利用者が少ない・いない/交通の便/交通渋滞/道路の不具合/駐車場少ない(商店街)/コンビニが遠い/まち中の空き家/空き店舗・家/空き家が多い/葦崎中心がまださみしい/賃貸物件が少ない・高い/アパートが少ない</p>
景観 環境 エネルギー	<p>【いいところ】独特な地形/うじゅうの森/自然/山はすばらしい/山々風景(南アルプス・八ヶ岳・富士山)/山がきれい/緑・自然豊か/自然景観が良い/季節の移ろいを肌で感じる/山が近い(自然が豊か)/紅葉スポット/自然豊かな景観/スキー場まで1時間かからない(登山口も)/七里岩からの景色/景色(八ヶ岳・南アルプス・富士山・川面のもや・広い空・広がる水田風景)</p> <p>【困りごと・課題】野生動物被害</p>
産業振興 まちなか	<p>【いいところ】ビッグイオンが安い! /地元で作ったワインが飲める! /ブドウが凄く良い! /ぶどうおいしい/美味しい農作物/商店街で言うと個性的な外観のお店が多い/アメリカヤ(商店街)/頑張る製造業/働く所がある</p> <p>【困りごと・課題】仕事がない/飲食店が少ない/補助金が少ない(農業)/ものづくりの町→工業高校との連携が弱い/子供がはたらく場所で移動を得る(※趣旨が不明瞭だが「就業機会」に関する課題として整理)/商店街利用者が平日少ない/駐車場が少ない(商店街)</p>
共生社会 人口減少社会 の行政運営	<p>【いいところ】ごちゃまぜ(多様性・混ざり合いの肯定として)、結婚により転入/生まれ育った所/こだわりの移住?/土地がある/土地がある</p> <p>【困りごと・課題】デジタル化もう少し頑張って!!/区の運営がうまくいかない/地域自治/先住者と移住者のコミュニケーションが希薄、子供が少ない/赤ちゃんがいない/祖父母の年齢/土地がない/農振が外れない/広めるには土地が少ない/農地が荒れたままでどうしよう…/マイナーだけど深み(=知名度・認知の弱さとして)/世界遺産がない/見どころが少ない(観光名所)/街のPRが下手/市民が市のよい所を説明できない</p>

1. 各種調査結果 ワークショップ

WSの概要：市の理想の未来

理想の未来(市民が書いた意見を分野ごとに割り振り)	
子育て 教育 歴史文化	子育て世代の住みやすい住居がたくさん増える/ミアキスのような小学生が利用できる施設ができる！/子供が笑顔/子育てで戻ってきたくなるまち/子どもたちが学びたい場所で学びたいことを自由に学べる・過ごせる教育環境/子ども達一人一人が自分らしく学べる場所がある/子ども達をまちの人達が温かく見守りケアする人間関係/高齢者と子供の共存/大人が勉強している・古くない
福祉	たすけあいのまち・仕組みづくり/年齢を重ねても安心して暮らせるまち/お互いの顔が見れる安心感/人と人をつなぐ人がいて分かりやすい街(相談しやすい)/高齢者増加→あて職×協議体/保育園をリノベして高齢者が住む→家は若者に/車を必要としない交通の更なる充実(福祉含め)/行きたい場所に安く移動が好きな時にできる
健康増進 スポーツ	景観や文化財でヘルスケアシティ/健康なまち/市民がみんな登山経験がある/登山客が増えて登山イベントが充実/韮高サッカー部選手権優勝
都市 防災	安全と安心のまち(災害に強く助け合いの力)/防災で地域をつなぐ/防災ネットワーク/地域のつながりが強くなり災害時も安心/超コンパクトシティの実現(川向こうヘライトレールを通す)
景観 環境 エネルギー	最上級の田舎/美しい河川/美しい山林/自然豊かなまち/ニッチな環境をいかしたまち/環境が中心にあるコミュニティー/自然がそのまま残されている(宅地ばかりにされていない)/豊かな自然との共生…鳥獣害？/自然を楽しみながら季節を楽しめる生活がある/景色を楽しみに韮崎に来る
産業振興 まちなか	東京エレクトロン半導体製造装置業界世界一/地場産業(農林水産)が盛んなまち/農業がよりさかんになり、ぶどうやワインが有名に！/韮崎のブドウをもっと尊重してほしい/地産地消のまち(野菜・ワイン・米・果物)/観光客が増えている/交流とにぎわいのまち(インバウンドと首都機能移転で)/徒歩圏で暮らせる商店街/にぎわいのある商店街(全国から注目を集めるような。再生の成功例になるような)/サイゼリヤ・餃子の王将の誘致/家族で利用できる飲食店が増えている/スタートアップの拠点ができて支援が充実/まち・商店街に付加価値を与えアップサイクルのまち韮崎/空き家群をリノベーションしてリノベーション村に若い世代が転入・集中→ブランディング/商店街に平日も人がいる状態/商店街の個展が魅力的で、市内外から買い物客が集まってくる/空き家・駐車場の利用/空き家がリノベーションされ、若い人達を楽しみながら生活する/市外からの来訪者がたくさん訪れるまち
共生社会 人口減少社会 の行政運営	自治会の若返り/バランスのとれた街/確変が起こる/人がつながる場所/地域みんなが生き生きとつながっている/市民・皆さんの居場所が韮崎にある/住んでいる人が満足している/住んでいる人が自分らしく生き生きとしている 人口増加/製造業で働く人が韮崎に住む/さらに土地集団化・工業誘致が必要となる/韮崎がもっと有名になっている/住宅課題は特区で解決！/マイホーム借上げ制度/リニアを利用し住み良い街

1. 各種調査結果 ワークショップ

得票数	班	〇〇 なまち スローガン
7	C班	エンドレスで安心なまち
6	B班	乳化する街
	D班	若い人に選ばれるまち
5	D班	企業とのタイアップで仕掛けていけるまち
	A班	交流と賑わいの町
	C班	移動なまち
4	D班	それぞれのライフステージのNeedsに応えてくれるまち(自助・近助・共助)
	B班	ごちゃまぜウェルビーイング
3	A班	文化と歴史の豊かな町
	C班	アップサイクルなまち
	AI班	顔が見える距離で、人がやさしくつながるまち
	AI班	若者が”やってみよう”と言える余白のあるまち
2	A班	美しい自然の町
	B班	ニッチな環境を活かした街
	AI班	自然と暮らしの”ちょうど真ん中”が心地いいまち
0	A班	交通の便利な町

AIによるスローガン生成 (アイスブレイク)

私たちの新潟市
これからの10年ビジョン

1. 自然と暮らしの”ちょうど真ん中”が心地いいまち

課題解決: 「中道半端な田舎」を「ちょうどいい」という価値へ。
基盤: 都市機能、豊かな自然、交通の良さ、そのすべてが揃うこと。
めざす姿: 「拡大」よりも、市民一人ひとりの「心地よい時間」を。

2. 顔が見える距離で、人がやさしくつながるまち

課題解決: 「距離が近すぎる」を「見守り・サポート」という温かさへ。
基盤: 誰もが「居場所」を感じられる、人との関係性。
めざす姿: 福祉、教育、子育てを支える「慧眼的な村」としての地域力。

3. 若者が”やってみよう”と言える余白のあるまち

課題解決: 「何もない」を「何かを始められる挑戦の余地」へ。
基盤: 空き家、小規模、新たなチャレンジを応援する土壌。
めざす姿: 「完成された街」ではなく、居住者も若者も「関わられる街」へ。

1. 各種調査結果 懇話会

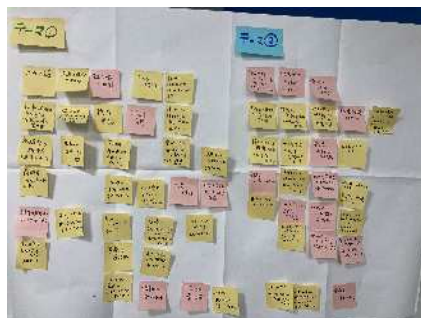
■懇話会開催概要(開催日順)

	女性懇話会	若者懇話会	中高生懇話会
実施目的	女性の暮らしや課題について、課題やニーズ等生の意見の抽出及び女性・子育て支援施策の検討に活かす	転出が多い年齢層である2, 30代の暮らしの課題やニーズ等の意見の抽出及び若者支援施策や共創の可能性の検討に活かす	の暮らしや課題について、課題やニーズ等生の意見の抽出及び若者支援施策や共創の可能性の検討に活かす
開催日時・場所	2026(R8)年2月7日(土) 10:00~12:00 ニコリ1階 会議室6	2026(R8)年2月13日(金) 19:00~21:00 市役所別館301会議室	2026(R8)年2月17日(火) 17:00~19:00 青少年育成プラザMiacis
テーマ	「まちと私のちょうどいい関係」	「若者が働く・暮らすをリアルに考える」	「にらさき学生アイデア会議～葦崎の未来の話をしよう～」
参加人数	11名(学生、主婦、子育て支援センター職員、カメラマン、Youtuber 等)	10名(市内出身者5名、市外出身者5名)	11名
当日プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 開会挨拶 アンケート結果の提示 テーマ1:今の葦崎市の困りごと・その原因と理由 テーマ2:未来に向けたアクション 閉会挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> 開会挨拶 アンケート結果の提示 テーマ1:今の葦崎市の困りごと・その原因と理由 テーマ2:未来に向けたアクション 閉会挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> 開会挨拶 アンケート結果の提示 テーマ1:今の葦崎市の困りごと・その原因と理由 テーマ2:好きなこと・できること 閉会挨拶
実施方法	フィッシュボウル方式(参加者で二重の輪をつくり、内側が話す・外側が聞く役割となり、外内を入れ替えながら進行していく方式)の対話型にて実施		

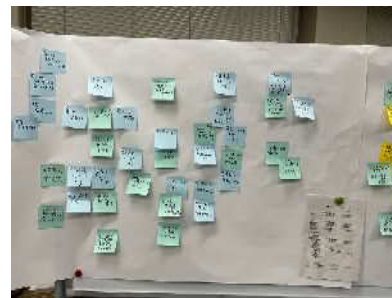
1. 各種調査結果 懇話会

■ 各懇話会の様子

女性懇話会



若者懇話会



中高生懇話会



1. 各種調査結果 懇話会

■結果概要(女性懇話会)

①テーマ1:今の韮崎市の困りごと・その原因と理由

主な困りごと			
介護・福祉	子育て・教育	働き方・就職	情報
<ul style="list-style-type: none"> 介護と体力不安 医療アクセス(通院)の課題 福祉は「お金にならない」構造 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校支援不足 学童の運営課題 小学校以降の孤立 住宅不足 地域との関わり不足 	<ul style="list-style-type: none"> 働き口不足・給与差 地元就職情報不足 大学生支援が遅い 「子育てできるが働けない」 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信方法(SNS等の活用) 補助金等の情報発信不足 支援制度が届かない

②テーマ2:未来に向けたアクション

介護・福祉	子育て・教育	働き方・就職	情報
<ul style="list-style-type: none"> 若者を巻き込んだ高齢者支援(ライドシェア・買い物等) 	<ul style="list-style-type: none"> 祖父母世代を巻き込んだ地域支援 企業・地域事業 若者の希望の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 何かやりたいときに発信できる場所づくり 若者チャレンジ支援 若い世代が戻れる循環 人材バンク 企業支援 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信強化(SNS・ショート動画) 女性が「選べる」状態づくり

③事後アンケート結果

- 満足度:「よかった」…90%
- まちづくり参画意欲:「高まった/大いに高まった」…100%
- 主な意見:また開催してほしい/やりたいことを形にできる地元に/女性だけでなく、家族全体を支える視点が必要

“支えあいの循環”を地域でどうつくるか。
高齢者・子ども・若者・働く世代がつながり直せる仕組み

1. 各種調査結果 懇話会

■結果概要(若者懇話会)

①テーマ1:今の韮崎市の困りごと・その原因と理由

好きなところ・主な困りごと			
生活利便性	住宅	娯楽	他市との比較
<ul style="list-style-type: none"> ・【困】郊外部は不便、公共交通も少ない ・【好】駅の周りは買い物が便利 ・【好】東京へのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ・【困】転入の時に家が見つからなかった ・【困】周辺自治体より家賃が高い ・【好】東京よりは安い 	<ul style="list-style-type: none"> ・【困】飲食店が閉まるのが早い ・【困】帰る手段がなくなるのが早い ・【好】面白いお店が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・【困】飲み会は甲府 ・【困】市外は便利で寂しい気持ちになる ・【好】子育て支援充実 ・【好】あたたかい人情

②テーマ2:未来に向けたアクション

今の仕事の延長	人口減少の考え方	情報発信	意見交換
<ul style="list-style-type: none"> ・ ワイン×高齢者施設で生きがい作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住よりもどう市に貢献するか ・ 流動性を受け入れるべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の魅力を若者の目からSNSで発信 ・ 転出した人にも情報を届ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ この懇話会のような場を今後も設けたい

③事後アンケート結果

- ・ 満足度:「よかった」…90%
- ・ まちづくり参画意欲:「高まった/大いに高まった」…90%
- ・ 主な意見:自分も知らない市の魅力に気づいた/継続的に実施してほしい/働きやすい環境を作してほしい

1. 各種調査結果 懇話会

■結果概要(中高生懇話会)

①テーマ1:今の韮崎市の困りごと・その原因と理由

好きなところ・主な困りごと			
自然	交通	娯楽	居場所
<ul style="list-style-type: none"> ・【好】自然が豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ・【好】特急ですぐに東京に行ける ・【困】中学生の移動手段が不便、バスが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・【好】市外に行く ・【困】ニコリにカフェが欲しい ・【困】サッカー場が少なく予約困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・【好】ニラチビ、ミアキス ・【困】目的が無いとミアキスに行く目的がないと行かない

②テーマ2:好きなこと、まちでできること

若者目線の情報発信	イベント参加	イベント企画運営	ボランティアへ参加
<ul style="list-style-type: none"> ・ 韮崎市の魅力を若者目線で、若い人に向けて発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ すずらん祭りなどでの出演の機会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盛り上げるのが得意、学園祭などの経験を活かせる ・ 商店街シャッターアート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニコリでのボランティアや市内のイベント運営ボランティア

③事後アンケート結果

- ・ 満足度:「よかった」…100%
- ・ まちづくり参画意欲:「高まった/大いに高まった」…54.5%
- ・ 主な意見:小学生の意見も聞いてみたい/SNS発信は有効だと思った/定期的に開催するのがよい

1. 各種調査結果 施策評価

市が実施している施策について、施策の数値評価をもとに
 「これまでの施策の事業成果・効果」
 「今後の課題・展望」について各課に対して調査を行いました。



基本方向 1 夢を持ち、明日を担う人材を育むまちづくり

政策	施策	取り組みの基本方針
政策 1 子と親をまるごと育むまちづくり	施策 1 子育て支援の充実	1 子育てネットワークの構築支援 2 子育てと就労の両立支援 3 母親・子どもの心身の健康確保 4 ひとり親家庭への支援
	施策 2 子育て環境の整備	1 保育園機能の充実 2 子ども・子育て関連施策の検討
政策 2 やさしさと思いやりを育み、楽しく学べるまちづくり	施策 3 幼児教育の充実	1 幼稚園就園の支援 2 関係機関・家庭・地域の連携
	施策 4 学校教育の充実	1 教育内容の充実 2 学校教育施設、教育環境の充実 3 郷土愛を育む教育 4 キャリア教育の充実

関連する課に対して
 施策の成果と課題・展
 望を紙面調査

1. 各種調査結果 施策評価

分野	市の取り組み
子育て・教育・歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【子育て】補助・施設整備や一体的支援、多子世帯支援・ICT導入、地域連携により、切れ目ない支援拡充と保護者負担軽減、親子・多世代交流の機会確保につながった。 ✓ 【教育】「生きる力」を育む教育の推進と、デジタル等に対応した環境整備・一貫体制、学校家庭地域連携や生涯学習・図書館・施設改修の充実により、学びの質と機会が向上した。 ✓ 【歴史文化】文化芸術活動・継承団体の育成と鑑賞機会の提供、施設改修により、市民の関心向上と安全で快適な文化環境の整備につながった。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 相談窓口の一本化や障がい者の相談支援・権利擁護の充実により、当事者・家族の負担軽減と社会参加の促進につながった。 ✓ 保健事業や訪問による健康把握・医療接続、介護予防と就労自立支援の推進により、地域での暮らし継続と健康増進、制度運営面の改善(適正化・医療費抑制等)に寄与した。
健康増進・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【健康】医師会・全庁連携でワクチン接種と定期予防接種を円滑に実施し、公衆衛生の向上と感染症の発症・まん延防止、市民の健康的な生活の確保に寄与した。 ✓ 【スポーツ】健診・保健指導やアピアランス支援、保健福祉センター機能強化に加え、スポーツ振興・東京エレクトロン葦崎アリーナ等により、健康増進・競技力向上・生活の質向上と利便性向上、地域経済の活性化につながった。
防災・都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【防災】防団の処遇・装備強化、情報伝達(無線デジタル化+防災アプリ)と備蓄拡充、訓練・人材育成による地域防災力向上、対策工事・道路橋梁整備・住宅耐震化の推進により、災害対応力と被害抑止が進んだ。 ✓ 【都市計画】都市計画マスタープラン(令和7~25年度)を策定して中長期の都市整備方針・施策を明確化し、景観誘導や公園改修・市営住宅/定住促進住宅、上下水道等の計画的整備を通じて、安全性・居住性と持続可能な都市づくりの基盤を強化した。
景観・環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境教育による意識啓発で特定外来生物(オオキンケイギク)の抑制につながり、適正な指導により良好な景観形成と無秩序な設置等の景観阻害の防止が図られた。
産業振興・まちなか活性化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【産業振興農】地集積・新規就農支援や鳥獣被害対策、ワイン振興、穂坂工業団地の整備、設備投資支援、資金繰り支援、オープンファクトリー等により、生産基盤の強化と雇用・人材確保、地域ブランド向上につながった。 ✓ 【まちなか活性化】商工会等による情報発信・補助制度支援で新規出店を促進し、観光協会等と連携した観光基盤整備とイベント集客の増加により、中心部の賑わい創出と交流満足度の向上につながった。
共生社会 人口減少社会 の行政運営	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 【共生社会】市民提案制度・まちづくりミーティング等で幅広い意見を収集しつつ、男女共同参画推進委員の活動を通じて参画意識の啓発を進め、多様な立場の声を行政運営に反映できた。 ✓ 【人口減少社会】先輩移住者の紹介や住まい相談など、移住希望者に寄り添う伴走支援で地方回帰を後押しした。 ✓ 空き家バンクの登録・成約促進や支援制度の充実により、定住先の確保と「本市を選ぶ」動機づけにつながった。 ✓ 【行政運営】手続の電子化・QR納付等や生成AI導入、PFI/SIB検討、委員充て職削減、税務調査の高度化・適正課税、ふるさと納税拡大などにより、事務コスト抑制と歳入確保、指標改善につながった。



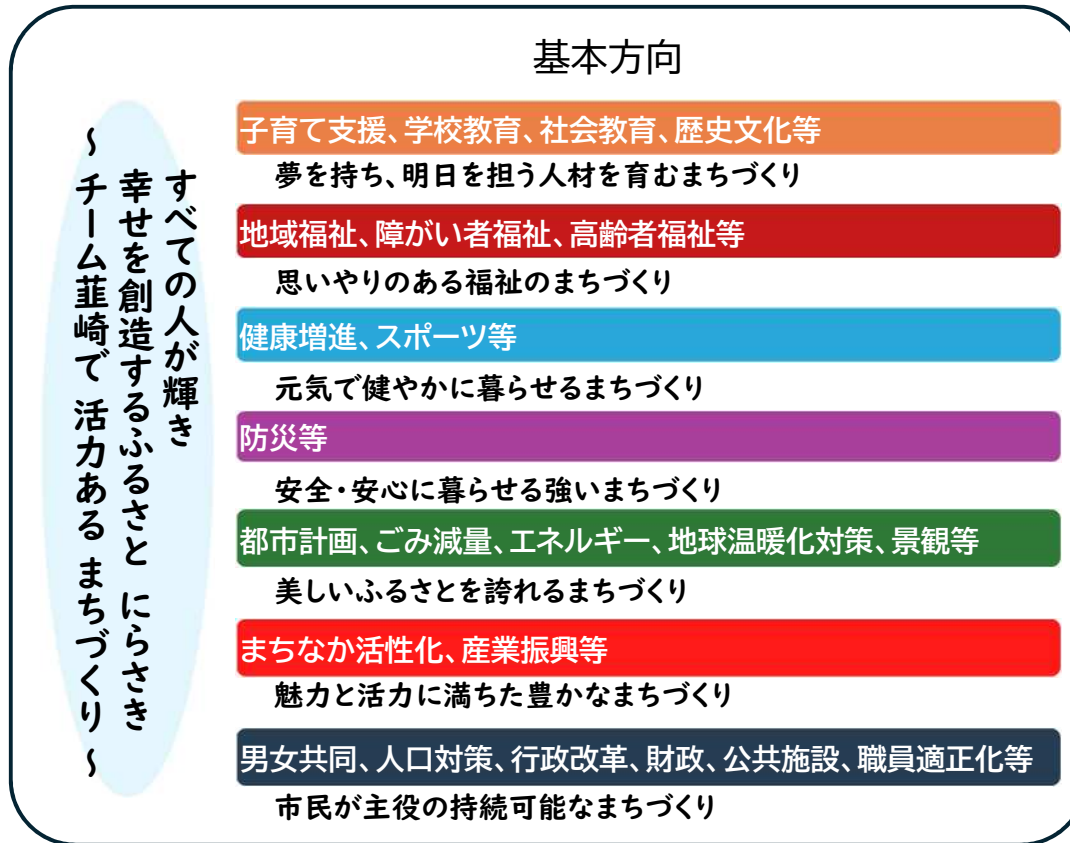
2. 現状と課題

2. 市の現状と課題まとめ

	現状	課題
子育て・教育・歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生数も年々減少傾向 高い子育て支援ニーズ 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育～社会教育環境の確保
福祉	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険の認定者については増加傾向 社会保障の増大 	<ul style="list-style-type: none"> 「重層的支援体制」の構築
健康増進・スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 体育館が新設、新たなスポーツの拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的なスポーツ環境の活用
防災・都市計画	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の市民満足度が低い 住宅供給が需要に追いついていない 一方で空き家は存在 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通網の充実 住宅供給への支援、空き家対策
景観・環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 自然資源や景観への好感の意見が多く集まった 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の誇りである自然・景観の保護、活用
産業振興・まちなか活性化	<ul style="list-style-type: none"> 産業構造が工業に偏っている 	<ul style="list-style-type: none"> 工業の振興と農業分野との両立
共生社会 人口減少社会 の行政運営	<ul style="list-style-type: none"> 人口、合計特殊出生率は減少傾向 10～30代前半の若年層の流出が顕著だったが、近年は転出超過幅が大きく縮小(男性は均衡に近い状況で推移している一方、若年層において女性の流出が相対的に多い) 人口減少対策の市民満足度が低い 近年の投資的経費増による財政圧迫 公共施設の更新による支出増大 	<ul style="list-style-type: none"> 支え合いによる女性活躍 若者世代のUターン促進や働き盛り世代・子育て世帯の移住・定住へのサポート 持続可能性に向けた事業見直し 公共施設の長寿命化

【参考】現行の総合計画・総合戦略と分野の整理

第7期
総合計画
(R1~8)



分野

子育て・教育・歴史文化

福祉

健康増進・スポーツ

防災・都市計画

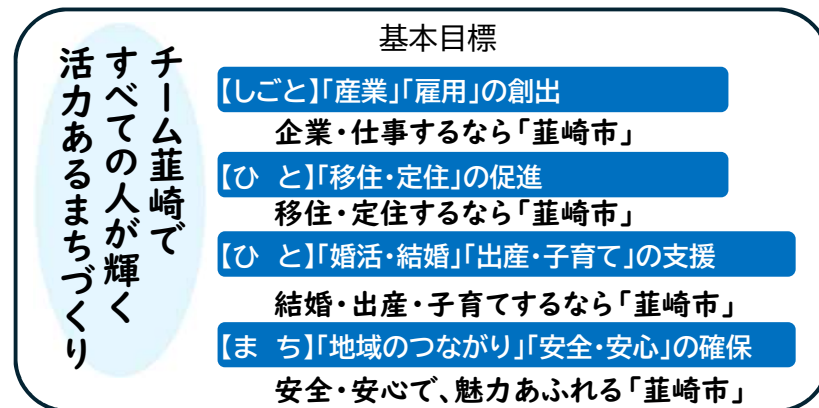
景観・環境・エネルギー

産業振興・まちなか活性化

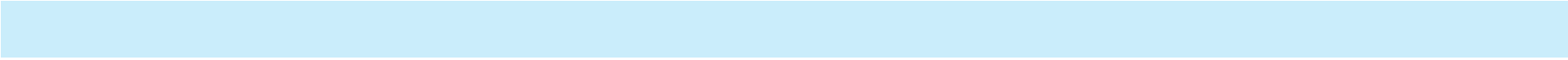
共生社会、人口減少社会の
行政運営

課題整理にあたって、
分野を整理

総合戦略
(R6~9)



人口減少
対策



3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

各種調査

基礎調査(統計データ)

施策評価

懇話会

(女性、若者、中高生)

現行計画振り返り
(総合計画、総合戦略)

社会潮流
(国・県の計画)

アンケート調査
(18歳以上、子育て世代、
小中高、企業、市外在住者)

3つの視点でキーワード抽出

現行計画

のキーワード

社会潮流

のキーワード

市民意見

のキーワード

分野

子育て・教育・歴史文化

福祉

健康増進・スポーツ

防災・都市計画

景観・環境・エネルギー

産業振興・まちなか活性化

共生社会、人口減少社会の
行政運営

将来像・基本方向
の検討に活用

3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

キーワードの整理

	現行計画の キーワード	社会潮流の キーワード	市民意見の キーワード
子育て・教育・ 歴史文化	夢、出産・子育て	子育て	子育て支援、学校教育、社会教育、若者主体、歴史文化、アート、市民性、人情
福祉	思いやり	セーフティネット	高齢者支援、福祉、孤立、自助・共助
健康増進・ スポーツ	元気		スポーツ、公園

3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

キーワードの整理

	現行計画の キーワード	社会潮流の キーワード	市民意見の キーワード
防災・都市計画	強さ、安心・安全	感染症対策、 レジリエンス、強靱化	防災、住宅、住環境、 空き家、公共交通、移動、 拠点、中心・郊外、コンパクトシティ
景観・環境・ エネルギー	美しさ		自然環境
産業振興・ まちなか活性化	産業、雇用、チャレンジ	にぎわい、挑戦	就労、企業連携、情報発信、 農業、イベント、賑わい、買 い物

3. 基本構想作成のためのキーワード抽出

キーワードの整理

	現行計画の キーワード	社会潮流の キーワード	市民意見の キーワード
共生社会、 人口減少社会の 行政運営	市民が主役、活躍 移住・定住	多様性 取り残さない、持続可能	女性活躍、ジェンダー差、 若者支援、移住、 ライフステージ
分野横断	輝き、幸せ、チーム葦崎、 つながり、DX、シティプロ モーション、広域連携	well-being、声を聞く、 幸福、豊か、暮らしやすさ、 つながり、交流、安心	ウェルネス、つながり、 市民交流、人間関係、 多世代・多文化交流、 共創、チーム葦崎、愛着、 持続可能・循環

【参考】市長ヒアリング 概要

実施概要

日時 2025(R7).12.05 10:15~12:00

ヒアリング内容

第7次総合計画の評価

良かった点:新体育館の整備が最大成果。PFIで専門事業者運営とし、人手不足下でも安定運営を実現。冷暖房完備の避難所機能など防災面も前進。コロナ禍では計画を柔軟に修正。駅前リノベやミアキスなど「チーム葦崎」による連携の芽が広がった。

課題だった点:果樹農業の衰退に十分な対策を打てず、住宅・宅地不足も解消できていない。農地転用と景観保全の調整が不十分で、空き家と移住施策が庁内で分断し実効性に課題。交流・にぎわいの回復も道半ば。

葦崎市の特徴(強み・弱み)

強み:東京エレクトロン等を核に産業集積と税収の伸びがあり、造成・投資で将来見通しもある。三山を望む眺望は希少な景観資源で企業立地にも効く。全国で活躍する人材輩出、市民の受容性や女性発の取組が生まれる土壌も強み。

弱み:農業衰退と担い手不足が深刻。住宅供給不足で「住みたいが住めない」状況があり、昼人口に比べ夜人口が伸びにくい。農地転用制約や地主事情で用地確保が難しく、駅前には日常買い物機能も不足。挑戦が生まれにくい面もある。

第8次総合計画のキーワード／コンセプト

「チーム葦崎」を中核に継承・強化したい。「小さなまちの大きなウェルネス」のような方向性を打ち出したい。ウェルネス(伝わりやすい補助語も併用)を広義の概念として掲げ、健康・生きがい・安全安心・まちの健全性まで含めて捉える。小規模の利点を活かしたコンパクトなまち、歩くまちづくり、女性活躍、DXを分野横断で位置付けたい。一方で駅前の歩行空間など物理的制約は認識。

ヒアリング事項

- 第7次総合計画の評価
- 葦崎市の特徴・強み・弱み
- 第8次総合計画のキーワード
- まちづくりアンケートにおける重点課題への今後の方向性(人口減少、防災・安全、医療・福祉、雇用・商業、空き家対策)
- 将来の葦崎市に向け、今後特に力を入れたい取り組み
- 総合計画策定にあたり注意すべき点

重点課題への方向性(5テーマ)

人口減少:女性活躍を柱に、働き方やジェンダー課題の是正を進めたい。住宅・宅地、空き家活用、農地転用など住まいの構造課題を解けば改善余地がある。**防災・安全安心:**国道20号4車線化を治水と一体で進め、代替ルート確保と渋滞解消を狙う。新体育館は防災拠点として活用を深める。

医療・福祉:市立病院の経営改善が急務。医療提供の維持と財政負担の両立方針を明確化する。**雇用・商業:**工業の恩恵を市内へ循環させる仕組みづくりが課題。駅前リノベを面で展開し、来訪と日常機能の両立も探る。

空き家:所有者の放置構造を変えることが核心。民間・金融機関と連携し、相続から活用までつなぐ仕組みと庁内一本化を進めたい。

今後力を入れたい取組

市民・事業者・行政が強みを持ち寄る「チーム葦崎」で、市民の活躍の場を増やしたい。女性活躍を農業・商業と掛け合わせ、加工・デザイン・販路等で価値向上を狙う。ウォークアブルは社会実験やポイント連動などで行動変容も促す。空き家・空き店舗・空き農地は役割分担のもと、移住・住宅と一体で進め、DXも市民サービスや回遊等に広げたい。

計画づくり(進め方・表現)

現行は細かく書き込み過ぎな印象。第8次は「目指す状態・将来像」を明確にし、変化に対応できる柔軟な計画にしたい。具体事業やKPIは総合戦略側に厚く置く二層構造を志向。財政制約等を直視しつつ、市民に希望が伝わる前向きなメッセージにする。

キーワード⇒

ウェルネス、チーム葦崎、女性活躍、若者、市民性、住宅、工業、農業、空き家、移住



4. 基本構想の検討

4. 基本構想の検討 : 前回の振り返り

策定方針の趣旨

「韮崎市第7次総合計画」の計画期間が令和8年度をもって終了することに伴い、令和9年度から令和16年度を計画期間とした新たな総合計画を策定します。

また、令和6年度から令和9年度を計画期間とした「韮崎市デジタル田園都市構想総合戦略」の終期を1年早め、第8次総合計画に含有し、両計画を一体的に策定します。

計画策定の背景

本市では、令和元年度から8年間のまちづくりの指針として第7次総合計画をスタートし、将来像『すべての人が輝き 幸せを創造するふるさと にらさき』を目指して、「チーム韮崎」で総合的なまちづくりを推進してきました。

前期基本計画の期間中には、新型コロナウイルス感染症による生活様式や価値観の変化、ゼロカーボンシティの実現、DXのさらなる推進など社会情勢がめまぐるしく変化しました。

また、現行の後期基本計画の期間中には、地方創生2.0が新たに打ち出されるなど、多様化・複雑化する市民ニーズや行政課題への対応が求められています。

そこで、本市が策定する次期総合計画では、市の将来ビジョンを提示し、市民が主役という基本的な考えのもと、本市が直面するさまざまな政策課題を市民とともに解決していく協働のまちづくりをさらに推進していくための指針となるよう策定します。

4. 基本構想の検討：前回の振り返り

計画の構成と期間

(1) 計画の構成

計画の構成は、**韮崎市第7次総合計画**と同様に「基本構想」、「基本計画」の2層構造とします。

(2) 計画の期間

ア 基本構想

市が目指す**将来都市像**、**基本目標**、**施策の基本方針**など、まちづくりに取り組むための**基本的な考え方**。

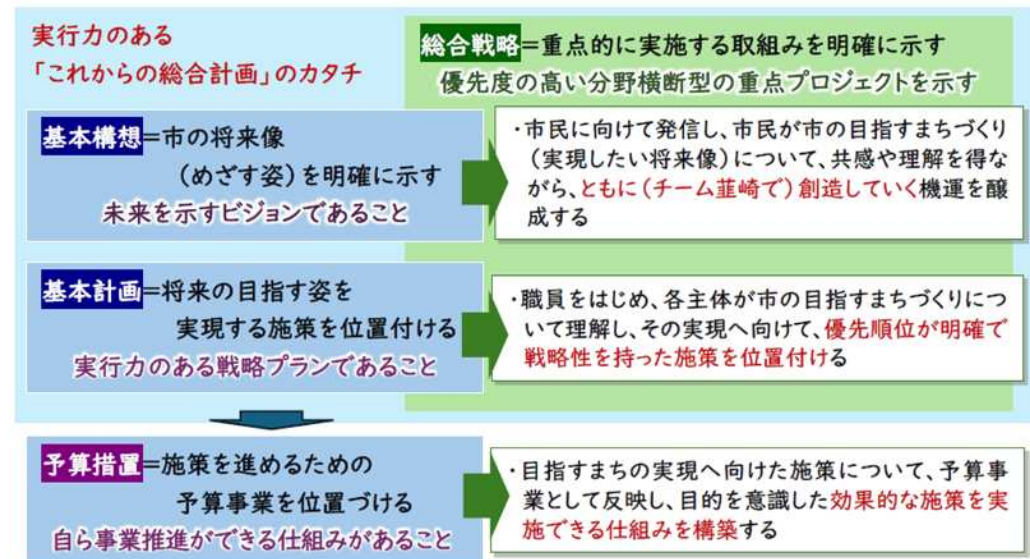
2026(R8)年度を初年度とし、**8年後の2034(R16)年度**を目標年度とします。

イ 基本計画

基本構想に掲げた**施策の基本方向**に沿って取り組むべき**施策を総合的に示すもの**。

2026(R8)年度を初年度とし、**前期計画4年間**、**後期計画4年間**とします。

※**総合戦略**については、**重点プロジェクト**として位置づけます。

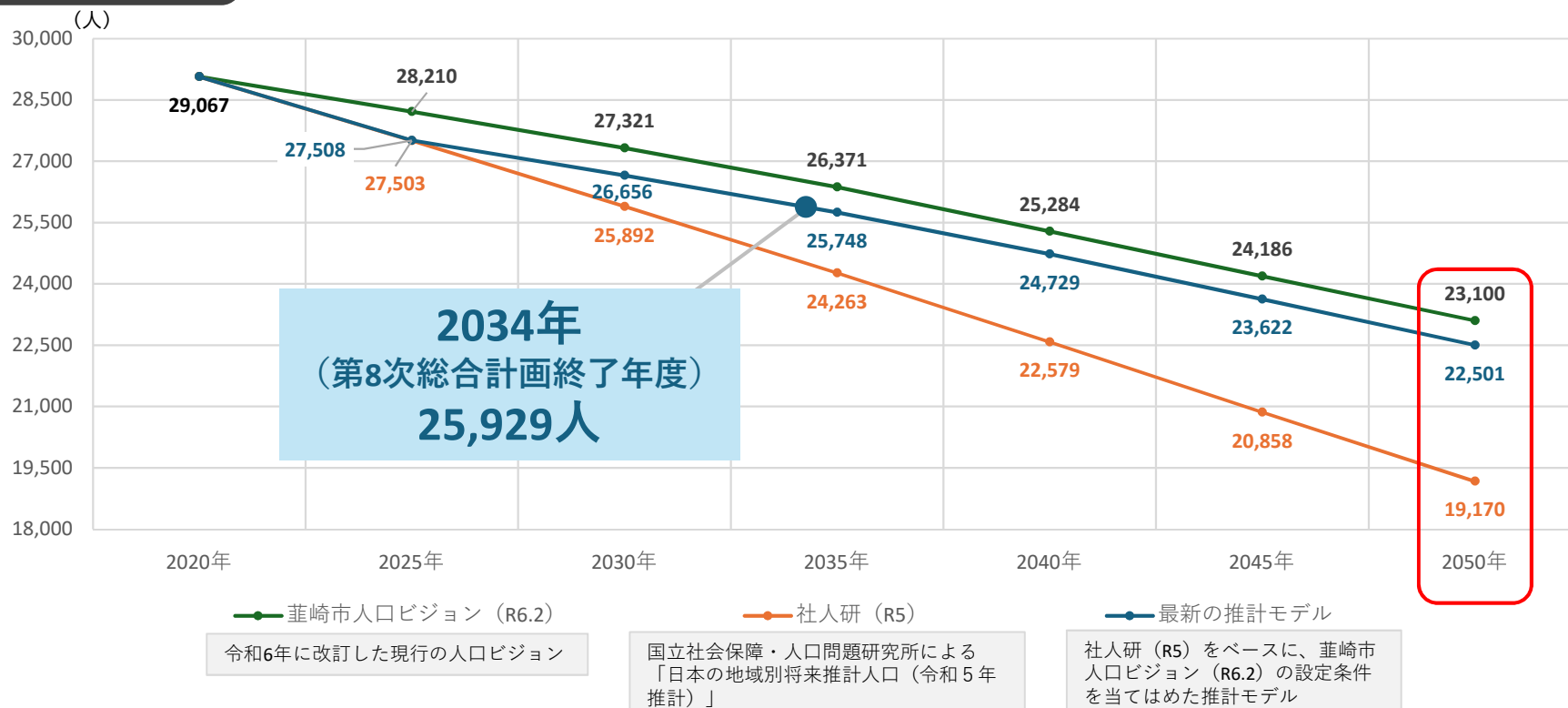


4. 基本構想の検討：将来人口の展望

- ・ 韮崎市人口ビジョン（改訂版）では韮崎市の将来目標人口とそれに伴う合計特殊出生率目標・社会増減目標が設定されており、人口は「2050（R32）年には23,100人」を目指し、そのために「2035（R17）年までに合計特殊出生率を1.5に」「社会増を5年ごとに10%改善」の目標を掲げていた。
- ・ 一方、上記の合計特殊出生率と社会増減の目標を最新の人口推計モデル（★）に当てはめると、2050（R32）年の人口は22,501人となり、当初の目標よりも約600人少ない推計結果となった。
- ・ つまり、前回の推計時（R6年2月）から人口減少が進んでいることが示唆されており、目標人口を目指すためにはさらに厳しい合計特殊出生率・社会増減の目標を達成する必要がある。

将来人口推計

人口減少の進行と人口目標達成の高いハードル



4. 基本構想の検討 : 構成案

将来像

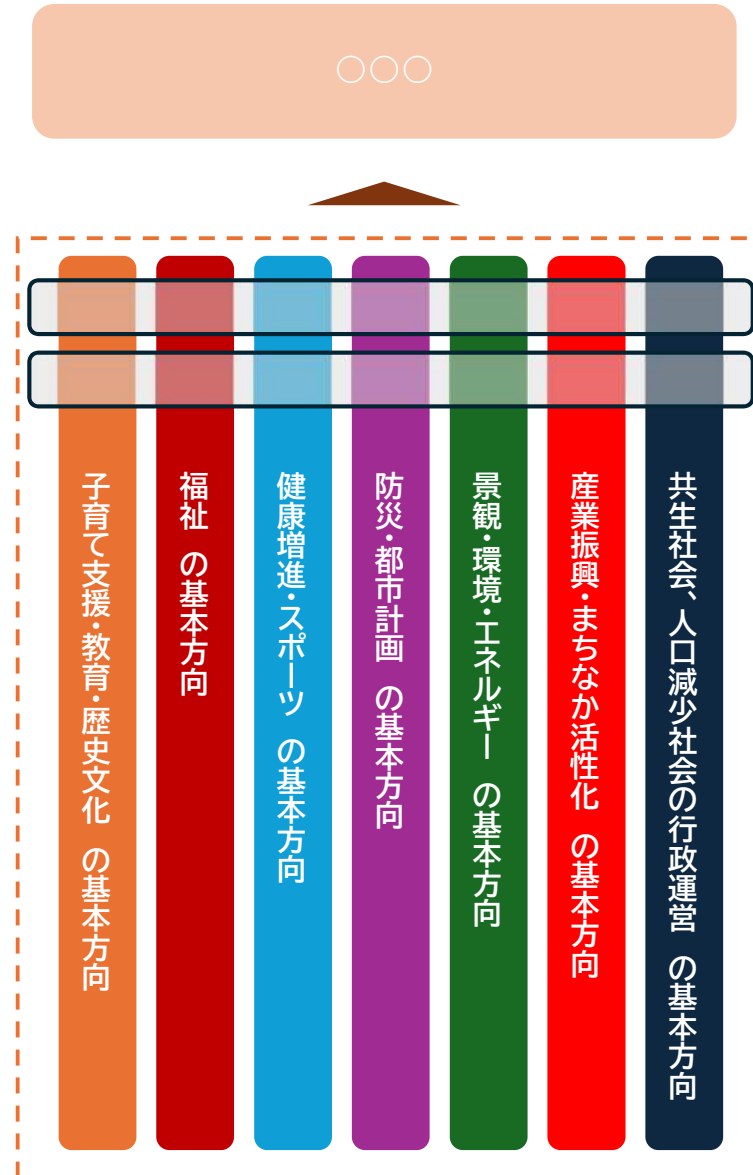
韮崎市の目指す姿

横断的視点

将来像の実現に向けて、
全分野、市民・行政に共
通して重要となる視点

基本方向

将来像の実現に向けた、
分野ごとの施策展開の
方向性



本日はご議論
いただきたい
内容

4. 基本構想の検討 : 将来像案

現行計画 キーワード

輝き、幸せ、夢、思いやり、元気、強さ、美しさ、チャレンジ、市民が主役、産業、雇用、移住定住、出産・子育て、つながり、安心安全、活躍、DX、シティプロモーション、広域連携、チーム葦崎

社会潮流 キーワード

Well-being、にぎわい、暮らしやすさ、幸福、子育て、声を聞く、最適化、快適さ、多様性、取り残さない、持続可能、レジリエンス、つながり、豊か、幸福、強靱化、感染症対策、セーフティネット、安心、道路基盤、インフラ整備、多様性、交流、挑戦、チーム葦崎

住民意向 キーワード

ウェルネス、福祉、高齢者支援、若者支援、子育て支援、ライフステージ、就労、女性活躍、ジェンダー差、孤立、自助・共助、学校教育、社会教育、若者主体、人間関係、市民性、人情、愛着、つながり、市民交流、多世代・多文化交流、共創、企業連携、情報発信、住宅、住環境、空き家、移住、公共交通、移動、拠点、中心・郊外、コンパクトシティ、買い物、自然環境、農業、持続可能・循環、防災、歴史文化、アート、スポーツ、公園、イベント、賑わい、チーム葦崎

【案1】現行計画踏襲型

すべての人が輝き 幸せを創造するまち にらさき
～ チーム葦崎で 活力ある まちづくり ～

【案2】社会潮流反映型

にぎわいと安心が循環し、
誰一人取り残さない持続可能なまち にらさき
～ チーム葦崎で 挑戦と支えあいの まちづくり ～

【案3】住民意向反映型

人と自然がつながり、
大きなウェルネスを叶えるコンパクトシティにらさき
～ チーム葦崎で 支え合い高めあう まちづくり ～

【案4】融合型(計画+住民+社会)

すべての人が輝き つながりと安心の中で
幸せを創造するまち にらさき
～ チーム葦崎で 活力ある まちづくり ～

4. 基本構想の検討：横断的視点

横断的視点:分野を横断する重要な視点

『チーム葦崎』による協働のまちづくり

◆ 目指す姿

- 市民・事業者・団体・行政など、多様な主体が強みを持ち寄り協働するまち
- 対話と連携を軸に、課題解決と新たな価値創造を実現する地域

◆ 背景課題

- 人口減少・社会構造変化により、行政だけでは地域を支えられない状況
- 地域課題を自分ごととして共有し、役割を分かち合うことが求められる

◆ “チーム葦崎”の意味

- 立場や世代を越え、共通の目標に向けて力を合わせる姿勢一人ひとりができる範囲で役割を担い、互いに支え合い高め合う関係性

◆ 横断的アプローチ

- 情報共有の充実と、対話の場の拡大
- 市民参加の機会を広げる仕組みづくり
- 民間活力や地域資源を活かした公民連携の推進挑戦を歓迎し、失敗を学びにつなげる風土づくり

◆ 特に重視する視点

- 協働と共創を基盤に、誰もが誇りと愛着を持てる葦崎の未来を創る
- 「チーム葦崎」としてまち全体の活力が高まり続ける地域

4. 基本構想の検討：横断的視点

市民それぞれの『ウェルネス』を叶えるまちづくり

◆ 目指す姿

- ・ 市民一人ひとりが“自分らしい幸福・充実”を実感できる地域社会
- ・ 多様なウェルネスが共存し、生涯を通じて心地よく暮らせるまち

◆ “ウェルネス”の意味

- ・ 病気でない状態にとどまらず、生活全体の質を高める概念
- ・ ウェルネス要素が相互に支え合う（身体、感情、精神、社会、知的、職業、環境）

◆ ウェルネスの特徴

- ・ 子育て期、働き盛り、高齢期など、ライフステージによって変化する

◆ 横断的アプローチ

- ・ 健康増進・スポーツ・福祉・教育・産業・環境などを連動させた施策の推進、市民が自分のウェルネスを選び・育み・実現できる環境の整備、ライフステージや価値観に応じた多様な支援の提供

◆ 推進の体制

- ・ 市民・事業者・行政がともに支え合う協働の体制多様なウェルネスが尊重される地域文化の醸成

◆ 特に重視する視点

- ・ 誰もが安心と誇りを持って暮らせる、持続可能で豊かな地域社会一人ひとりのウェルネスがまち全体の活力につながるまち

4. 基本構想の検討：横断的視点

広域連携によるまちづくり

◆ 目指す姿

- 韮崎市単独ではなく、周辺自治体・関係機関との戦略的連携により、地域全体で持続可能な発展を図る
- 地域の強みを共有し、広域での課題解決と価値創出を進める

◆ 横断的アプローチ

1. 広域的な行政サービスの共同運営
2. 防災分野等での相互支援
3. 観光・産業振興等での広域連携
4. 生活圏に応じた機能補完（医療、福祉、公共交通など）

◆ 特に重視する視点

- 韮崎市の独自性を失うのではなく、むしろ役割を明確にし強みを発揮するための戦略
- 相互の信頼と対話を基盤に、地域全体の活力を高めつつ“韮崎らしさ”を磨き上げる

4. 基本構想の検討：基本方向

基本方向:将来像の実現に向けた、分野ごとの方向性

子育て・教育・歴史文化 の基本方向

未来を担う子どもたちをすこやかに育むまちづくり

◆ 目指す姿

- 子ども一人ひとりが安心して成長できる環境を整える
- 家庭・学校・地域が連携して子どもを育てる
- 子どもの「生きる力」と「郷土への誇り」を育む

◆ “すこやかさ”の意味（身体的だけでなく、広い概念）

- 健やかな身体の成長
- 自ら考え行動する力
- 他者と協働する力、多様な価値観を尊重する姿勢
- 地域への愛着をもつこと

◆ 背景にある課題

- 人口減少の進行、社会環境の変化、持続可能なまちづくりにおける「人づくり」の重要性の高まり

◆ 必要とされる取り組み

- 子育て支援の充実、時代に対応した学校教育の推進、生涯学習を支える社会教育の充実、歴史・文化資源の継承と活用

◆ 特に重視する視点

- 子どもから若者へ、次世代へと学びが循環する仕組みを育む、地域全体で韮崎の未来を担う人材の育成

4. 基本構想の検討：基本方向

福祉の基本方向

支えあい・頼りあい・思いやりあう福祉のまちづくり

◆ 目指す姿

- 年齢・障がい・困りごとに関係なく、誰もが尊重され安心して暮らせる地域
- 孤立を生まない、思いやりと連帯のあるまち

◆ 背景にある課題

- 多様化・複雑化する福祉ニーズ
- 制度だけでは対応しきれない生活課題の増加

◆ 必要な取り組み（支援体制）

- 行政サービスの充実と、住民・社協・関係機関・事業者の連携強化
- 相談～見守り～支援へとつながる重層的な支援体制の整備
- 早期発見・早期対応の強化、制度の狭間への柔軟な支援

◆ 特に重視する視点

- 「支える／支えられる」に固定しない、互いに役割を担い合う関係づくり
- 共助を育む地域のつながりづくり
- 誰一人取り残さない包摂的な地域社会の実現
- 地域のつながりを強め、持続可能な福祉の基盤を確立

4. 基本構想の検討：基本方向

健康増進・スポーツの基本方向

いつまでも心も体も健康に暮らせるまちづくり

◆ 目指す姿

- 生涯にわたり、心身ともに健康で、つながりや生きがいを感じながら暮らせる地域
- 心の安定・身体健康・社会参加を総合的に支えるまち

◆ 健康づくりの考え方

- 医療・保健だけでなく、日々の生活習慣の改善を重視、予防を軸にした健康施策
- 食習慣・運動・休養・心のケア・地域交流など、暮らし全体の質の向上を基盤に

◆ 必要な取り組み

- 生活習慣改善の支援（食・運動・休養・メンタルヘルス）
- 地域の支え合い・交流活動の充実
- 予防医療・健康チェックなどの継続的な取組の強化

◆ スポーツを通じた健康づくり

- ウォーキング・体操・レクリエーション・観戦・応援・ボランティアなど多様な関わりを推進
- 身体活動の促進と世代を超えた交流の機会を拡大
- 社会参加のきっかけづくりとしてスポーツを活用

◆ 特に重視する視点

- 健康寿命の延伸と生活の質の向上
- 地域コミュニティの活性化

4. 基本構想の検討 : 基本方向

防災・都市計画 の基本方向

安心と安全と快適の中で住み続けられる強いまちづくり

◆ 目指す姿

- 災害から市民の命と暮らしを守り、日常も安心・快適に暮らせるまち
- 将来にわたり住み続けられる、安全で質の高い都市環境の実現

◆ “強さ”が意味するもの

- 施設・インフラの堅牢さだけではない、地域全体のレジリエンス災害リスクの把握、事前の備え、被害最小化、迅速な復旧・復興ができる地域力

◆ 必要な取り組み

- 防災・減災対策の推進、ハザード情報の共有
- 住民の防災意識向上、避難行動につながる啓発と、地域の支え合い体制の強化
- 都市計画と整合をとり、安全性に配慮した土地利用の誘導
- 居住環境・生活利便性の向上、住宅用地整備、空き家対策
- 公共交通の充実、拠点形成による持続可能な都市構造への転換

◆ 特に重視する視点

- 防災と都市づくりを一体で進めることで、人口減少・少子高齢化にも対応
- 安全・安心と快適性を兼ね備えた、持続可能で暮らし続けられるまちの実現

4. 基本構想の検討：基本方向

景観・環境・エネルギーの基本方向

美しさと誇りを未来の世代につなぐまちづくり

◆ 目指す姿

- ・ 自然環境や景観を守り育て、持続可能な地域社会を実現するまち
- ・ 資源を循環的に活用し、脱炭素社会へ移行する地域

◆ “美しさ”の意味

- ・ 景観の美しさにとどまらず、清潔で整った生活環境、自然と調和した土地利用、環境負荷の小さい暮らしと事業活動次世代への責任を意識した行動が積み重なって生まれる地域価値

◆ 必要な取り組み

- ・ ごみ減量と資源循環の推進、省エネルギーの徹底と再生可能エネルギー導入の促進
- ・ 地球温暖化対策の強化景観の保全・形成を計画的に推進

◆ 推進の体制・担い手

- ・ 市民・事業者・行政が役割を担い合い、日常生活・経済活動に環境配慮を組み込む
- ・ 地域全体で環境負荷を低減する仕組みづくり

◆ 特に重視する視点

- ・ 葦崎らしい自然やまちなみの魅力を守り、高める
- ・ 誇りをもって次世代に引き継ぐことのできる、持続可能な環境都市の実現

4. 基本構想の検討 : 基本方向

産業振興・まちなか活性化 の基本方向

確かな豊かさがめぐりつながるまちづくり

◆ 目指す姿

- ・ 経済の成長が市民の暮らしの質の向上に確実につながるまち
- ・ 働く場・挑戦の場・交流やにぎわいの場が市内に広がり、地域内で好循環が生まれる状態

◆ “豊かさ”の意味

- ・ 単なる所得や売上の拡大ではなく、地域で安定して働ける環境
- ・ 創業・事業承継に挑戦しやすい仕組み
- ・ まちなかに人が集い、交流が生まれる場の存在
- ・ 身近な場所で買い物・サービスを受けられる生活の便利さ
- ・ 経済活動と暮らしが相互に支え合いながら循環している状態

◆ 必要な取り組み

- ・ 創業支援、企業支援、労働者支援の充実
- ・ 既存産業の高度化・担い手確保の推進
- ・ 産業振興と中心市街地活性化を一体的に進め、地域内で価値が循環する経済構造を形成

◆ 特に重視する視点

- ・ 「働く・稼ぐ・集う・つながる」機能が市内で循環する
- ・ 地域経済地域資源や産業の強みを活かした持続可能で活力ある経済
- ・ 市民・事業者が将来に希望を持てるまちの実現

4. 基本構想の検討：基本方向

共生社会、人口減少社会の行政運営の基本方向

市民と共に未来を支える持続可能なまちづくり

◆ 目指す姿

- 市民参加と対話を原点とした協働型のまちづくりの推進
- 共生社会の実現と、人口減少社会に対応した持続可能な自治体経営の両立

◆ 背景課題

- 人口減少、少子高齢化、社会構造の変化による地域の持続可能性の低下
- コミュニティの弱体化、暮らし方の多様化、デジタル格差の拡大
- 限られた人材、財源、公共施設を有効活用しながら行政サービスを維持する必要性

◆ 必要な取り組み

- 行政改革、財政規律、公共施設、職員体制適正化による行財政運営の強化
- インフラの適切な維持管理
- デジタル活用による利便性向上、情報格差対策
- 移住・定住促進、関係人口拡大の推進
- 結婚、出産、子育て支援、地域コミュニティ強化、男女共同参画、多様な人材活躍の促進

◆ 持続可能性を支える分野

- 男女共同参画の推進
- 実効性ある人口対策
- 誰もが活躍し、暮らし・仕事・子育て・地域活動を両立できる環境づくり

◆ 特に重視する視点

- 出生率向上、社会増減改善、関係人口拡大を通じた選ばれるまちの実現
- 誰もが支え合い、自分らしく活躍できる共生社会の形成

4. 基本構想の検討 : 将来像・基本方向・横断的視点

【参考案】
 人と自然がつながり、
 大きなウェルネスを叶えるコンパクトシティにらさき
 くチーム葺崎で支え合い高め合うまちづくりく



【参考】基本計画・重点プロジェクトのイメージ

